

32V型液晶テレビ

品番: FFF-TV32WBK2-SB

取扱説明書



はじめにお読みください

このたびは弊社の製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みになり、内容を十分理解されたうえ、正しくご使用ください。お読みになったあとは、いつでも取り出せる所に大切に保管してください。

ご使用の前に

準備する

テレビを見る

録画・再生する

設定を変える

その他

もくじ

ご使用の前に 4

安全上のご注意	4
使用上のご注意	6
本機で受信できる放送	8

準備する 9

付属品	9
各部のなまえ	10
本体	10
リモコン	11
スタンドを取り付ける	12
リモコンの準備と使いかた	13
乾電池を入れる	13
使いかた	13
B-CASカードを挿入する	14
アンテナを接続する	14
外部機器を接続する	16
USBハードディスクを接続する	18
LANケーブルを接続する	18
電源を入れる	19
「かんたん設置設定」をする	20

テレビを見る 23

テレビ放送を見る	23
基本的な使いかた	23
その他のチャンネル選局のしかた	23
音量を調節する	23
音を一時的に消す（消音）	23
番組表を使う	25
番組表から番組を選ぶ	25
番組説明を見る	25
今すぐ番組を見る	25
番組表で視聴予約する	26
番組表で録画予約する	26
番組表の表示内容を変更する	26
番組を探す（ジャンル検索）	27
番組データを取得する	27
視聴年齢制限番組を見る	27

音声や字幕を切り換える	28
音声を切り換える	28
字幕を切り換える	28
チャンネル情報を表示する	29
放送中の画面を静止する	29
サブメニューボタンを使う	29
データ放送を見る	30
ほかの機器の映像を見る	30
外部機器の音声を設定する	31
ヘッドホンやイヤホンで楽しむ	31
オフタイマーを使う	31

録画・再生する 32

録画の前に（必ずご確認ください）	32
録画に必要な設定をする	32
USBハードディスクを本機に登録する	32
機器の登録を確認する	33
USBハードディスクを取り外す	33
詳細情報を表示する	33
機器の表示名を変更する	33
機器登録を削除する	33
録画する	34
見ている番組を録画する	34
録画を途中で停止する	34
番組表で録画予約する	34
毎週予約で予約する	34
自動録画する	35
詳細な予約設定をする	35
予約を確認する・削除する	36
予約の変更をする	36
予約が重複したときは	36
録画した番組を再生する	37
録画番組を再生する	37
録画番組再生中の操作	37
番組の一部を繰り返し再生する （ABリピート）	38
チャプター一覧で場面を選んで再生する	38
録画番組のプロテクトを設定・解除する	38
番組名を編集する	38
録画番組を消去する	38

もくじ (つづき)

設定を変える 39

メニューの設定・操作	39
基本的な操作のしかた	39
メニュー画面の見かた	39
メニュー一覧	40
映像設定	42
音声設定	44
通信設定	45
ネットワークの設定をする	45
ネットワークの接続状態を確認する	45
タイマー設定	46
機器設定	47
機器情報	53

その他 54

文字を入力する	54
画面キーボードで入力する	54
リモコンボタンを使う	55
困ったときは	56
表示メッセージ	60
おもな仕様	62
お問い合わせ先	64

ご使用前に

安全上のご注意

ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みにになり、内容を十分理解されたうえ、正しくご使用ください。
お読みになったあとは、いつでも取り出せる所に大切に保管してください。

絵表示について

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくご使用いただき、お使いになる人やほかの人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

	注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。		禁止の行為であることを告げるものです。		行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
---	------------------------------	---	---------------------	---	-------------------------

警告

 電源プラグを抜く	煙が出ている、異臭や異音がするなどの異常状態のまま使用しない 火災・感電の原因になります。 このようなときはすぐに電源を切り、そのあと必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから販売店または弊社お客様サポートセンターに修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。	 水ぬれ禁止	水が入る、ぬれるような場所では使用しない 火災・感電の原因になります。海岸、水辺では使用しないでください。
 分解禁止	機器を分解しない 火災・感電の原因になります。	 禁止	周囲に可燃性のものがある所に設置しない カーテン、じゅうたん、毛布、カパークロス、衣服、新聞紙などの紙、ホコリなどに注意してください。火災・感電の原因になります。
 分解禁止	電源プラグや電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない 火災・感電の原因になります。	 電源プラグを抜く	万一、機器を落としたり、破損した場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。
 分解禁止	お客様自身による修理・改造はしない 感電の原因になります。内部の点検・修理は販売店または弊社お客様サポートセンターにご依頼ください。	 禁止	この機器の開口部（背面の通風孔など）から金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落し込んだりしない 火災・感電の原因になります。とくに小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
 禁止	表示された電源電圧、交流 100V 以外の電圧で使用しない 火災・感電の原因になります。	 電源プラグを抜く	万一、異物が機器内部に入った場合は、本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く そのまま使用すると火災・感電の原因になります。販売店または弊社お客様サポートセンターにご連絡ください。
 禁止	電源プラグや電源コードをキズつけたり、破損させない また、重いものを載せたり、加熱したり、引っ張ったりしない コードが破損し、火災・感電の原因になります。	 水ぬれ禁止	風呂場では使用しない 水などをかけないでください。 火災・感電の原因になります。
 使用禁止	電源プラグや電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店または弊社お客様サポートセンターに交換を依頼する そのまま使用すると火災・感電の原因になります。	 禁止	機器の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かない こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因になります。
 禁止	ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かない 落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。	 電源プラグを抜く	万一、内部に水などが入った場合は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く そのまま使用すると火災・感電の原因になります。販売店または弊社お客様サポートセンターにご連絡ください。

安全上のご注意(つづき)

⚠ 注意	
 接触禁止	雷が鳴りだしたら、アンテナ線や電源プラグに触れない 感電の原因になります。
 必ず守る	電源プラグは確実に差し込み、固定されていることを確認する 火災・感電の原因になります。
 電源プラグを抜く	お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いておこなう 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く 移動させる場合は、安全のため電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いておこなう 電源コードがキズつき、火災・感電の原因になります。
 禁止	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない 感電の原因になります。
 禁止	ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない 火災・感電の原因になります。
 禁止	電源プラグや電源コードを発熱器具に近付けない コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因になります。
 禁止	たこ足配線をしない 火災・感電の原因になります。
 禁止	機器に乗らない 倒れたり、壊れたりしてけがの原因になります。とくに小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
 禁止	本体を落としたり、振動を与えない 故障・火災・感電の原因になります。
 禁止	液晶画面に衝撃を加えない 液晶画面のパネルが割れる原因になります。
 禁止	直射日光の当たる所や、発熱器具の近くなど高温になる所に設置しない 機器に障害を与え、火災・感電の原因になります。
 禁止	次のような使い方はしない 火災の原因になります。 ・本体を押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い場所に押し込む。 ・テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置く。
 必ず守る	キャビネットなど閉めきった所に入れて使うときは、換気のため本機の周りを約5 cm以上あける
 禁止	湿気やホコリの多い場所に置かない 火災・感電の原因になります。
 禁止	調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かない 火災・感電の原因になります。
 使用禁止	お手入れの際、酸性・揮発性の強い洗剤・溶剤を使用しない 変形・変色の原因になります。

 必ず守る	梱包箱から取り出すときは、絶対に液晶パネルを持たない 液晶パネルが割れる原因になります。
 必ず守る	梱包箱から取り出すときや、持ち運び・設置の際は、2人以上でおこなう 1人でおこなうと、身体を痛めたり、テレビを落としてけがをするなどの原因になります。
 必ず守る	離れた場所に移動するときは、電源プラグ・アンテナ線・外部機器との接続線を外す 外さないまま移動すると電源プラグや電源コードがキズつき、火災・感電の原因になります。
 必ず守る	衝撃を与えないよう、ていねいに扱う 破損の原因になります。

リモコン電池の取り扱いについて

⚠ 警告	
 禁止	電池は幼児の手の届く所に置かない 電池を飲み込むと、窒息することがあります。また消化器官内に留まると、潰瘍などの原因となり大変危険です。万一飲み込んだときには直ちに医師に相談してください。
 接触禁止	電池が液漏れしたときは素手で触らない 漏れた液が目に入ると、失明の原因になります。また、皮膚に付着した場合、炎症など傷害を負う原因になります。その場合は直ちに医師に相談してください。

⚠ 注意	
 禁止	電池を加熱したり、火の中に投入しない 電池の破裂や液漏れによる火災・けがの原因になります。
 禁止	電池を分解しない 電池の発熱事故や破裂・液漏れによる火災・けがの原因になります。
 必ず守る	電池は正しい向きに入れる 電池の破裂や液漏れによる火災・けがの原因になります。
 禁止	指定以外の電池を使わない 電池の発熱事故や破裂・液漏れによる火災・けがの原因になります。
 禁止	種類の異なる電池や、新しい電池と古い電池を混ぜて使わない 電池の発熱事故や破裂・液漏れによる火災・けがの原因になります。
 必ず守る	電池を使い切ったときや、長期間使わないときは電池を取り出す 電池の破裂や液漏れによる火災・けがの原因になります。

使用上のご注意

ご使用場所・設置環境について

- 本機が冷えきった状態のまま暖かい室内に持ち込むなどにより急激な温度差が生じると、動作部に結露が生じることがあります。そのままご使用になると故障の原因になります。結露が生じた場合はしばらく放置し、結露がなくなるまで電源プラグをコンセントに接続しないでください。
- 適正な周辺温度*の範囲内でご使用ください。正しい使用温度を守らない場合、故障の原因になります。(*本書「おもな仕様」の項をご確認ください。)
- 急激な温度差がある部屋(場所)で使用された場合、画面の表示品位が低下することがあります。
- 本製品は日本国内のみ使用可能です。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

リモコンの取り扱いについて

- 取り扱いの際はリモコンを落としたり、踏みつけたり、液体をこぼしたりしないようご注意ください。
- 直射日光が当たる所、暖房器具のそばや湿度が高い所には置かないでください。

miniB-CASカードの取り扱いについて

- 必要なとき以外はむやみにカードを抜き差ししないでください。必要以上に抜き差しを繰り返すと、故障の原因になります。
- miniB-CASカードにはIC部品が内蔵されています。折り曲げたり、大きな衝撃を加えたり、端子部に触れないようご注意ください。
- 本機に差し込むときは挿入方向を間違えないよう、十分確認してから挿入してください。

アンテナについて

- アンテナは妨害電波の影響を避けるため、交通の頻繁な自動車道路や電車の架線、送配電線、ネオンサインなどから離れた場所に設置してください。
- アンテナ線を不必要に長くしたり束ねたりすると、映像が不安定になる原因になります。
- アンテナは風雨にさらされるため、定期的に点検をおこなってください。とくにばい煙の多い所や潮風にさらされる所ではアンテナが傷みやすくなります。映りが悪くなったときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

電磁波妨害に注意してください

- 本機の近くで携帯電話などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより機器相互間での干渉が起こり、映像が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。

液晶パネルについて

- 液晶パネルは構造上、非常に高精度な技術で作られており、99.99%以上の有効画素数を実現していますが、ごくわずかに画面の一部に光らない点(画素欠け)や周囲と異なる色が点灯したままの点(輝点)が存在する場合があります。これは故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
- 液晶パネルは長時間同じ画像を表示していると、残像(画面焼けのような症状)が出たり、液晶パネルの寿命を縮める原因になります。ご使用にならないときは必ず電源をお切りください。

ソフトウェアダウンロードについて

- 本機はソフトウェアのアップデートや機能改善をおこなう必要がある場合に、地デジ・BS・110度CSデジタル放送の電波からプログラムをダウンロードしてソフトウェアを書き換えます。
画面にメッセージが表示されたときはダウンロードを実行するため、本製品を待機状態(電源を接続し、リモコンの電源ボタンで電源「切」にした状態)にしてください。
- ダウンロードは本機が待機状態(電源を接続し、リモコンの電源ボタンで電源「切」にした状態)のときのみ実行されます。
- ソフトウェアのダウンロード前、およびアップデート後には「放送メール」にメッセージが届きます。
- 放送メールに記載されたソフトウェアのダウンロード開始時間の前後30分は本機を待機状態にしておいてください。
- ダウンロードを実行するための受信レベルの目安は50以上です。

お手入れについて

- お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 液晶パネル表面は、やわらかい布(綿、ネルなど)で軽く拭きしてください。硬い布で拭いたり、強くこすったりすると、液晶パネルの表面にキズがつきますのでご注意ください。
- 液晶パネル表面にホコリがついた場合は、市販の防塵用ブラシ(静電気除去ブラシ)をお使いください。
- 汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤をやわらかい布に軽く湿らせ、そっと拭いてください。(強くこすったりすると、パネルの表面にキズがつく原因になりますのでご注意ください。)
- スプレー洗剤などを直接吹きかけないでください。本体内部に液体が入ると、故障の原因になります。
- アルコールやベンジン、シンナーなどは使わないでください。キャビネットが変質したり、塗装がはがれる原因になります。
- 殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。キャビネットが変質したり、塗装がはがれる原因になります。

使用上のご注意(つづき)

映像や音声の遅延について

- テレビ放送、または接続した外部入力機器によっては、映像や音声に若干の遅れが生じる場合があります。映像・音声でリズムを取るテレビゲームやカラオケ機器などによっては違和感を感じる場合がありますが、故障ではありません。あらかじめご了承ください。

本製品を廃棄またはほかの人に譲渡するとき

- 本機の内蔵メモリには、各種設定データや放送局からのメール・番組購入履歴などが記録されます。また、放送事業者からの求めにより入力した、お客様の個人情報などが記録される場合があります。本製品を譲渡または廃棄される際は、お客様の個人情報保護のため、必ず設定を初期化し、個人情報を消去してください。
- 本製品を廃棄される際は地方自治体の条例または規則に従って正しく処分してください。
- miniB-CASカードは廃棄せず、(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズまでご返却ください。

B-CASカードについてのお問い合わせ(故障・交換・紛失時など)
(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ
カスタマーセンター TEL: 0570-000-250

データの記録・保存に関する免責事項

- 本機の故障や修理などの何らかの原因で本機のメモリに保存されたデータが破損・消滅した場合など、いかなる場合においても記録内容の補償およびそれに付随するあらゆる損害について、弊社は一切責任を負いかねます。また、いかなる場合においても、弊社にて記録内容の修復はいたしません。あらかじめご了承ください。
- 何らかの原因でUSBハードディスクや外部録画機器にコンテンツが記録できなかった場合や、記録されたコンテンツが破損あるいは消去された場合など、いかなる場合においてもコンテンツの補償およびそれに付随するあらゆる損害について、弊社は一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

USBハードディスク録画に関する注意事項

- ハードディスクに録画する際は、事前に試し録画をして正しく録画できることを確かめてください。
- 本機で使用したハードディスクは、本機でのみ録画・再生ができます。
- 本機で使用したハードディスクを本機以外の機器と接続しても、録画した番組を視聴できません。また、弊社製の同型製品や他製品へ録画済みハードディスクを接続しても再生はできません。本機以外にハードディスクを接続すると初期化されて保存したデータが消去される原因になります。
- 本機以外で使用していたハードディスクを本機で使用する場合は、ハードディスクの初期化をおこなってください。なお、初期化をするとハードディスク内のデータはすべて消去されますのでご注意ください。
- ハードディスクを本機ではじめて使用されるときは、本機へ接続して録画用登録をおこなってください。
- 本機を故障などで修理した場合は、ハードディスクに録画した番組の再生はできなくなりますのでご了承ください。

録画番組について

- 録画した番組を再生すると、映像と音声に多少ズレが生じる場合があります。
- 録画した番組はお客様個人でお楽しみください。上映など営利目的で使用しないでください。
- お客様の使用方法において著作権法を違反した場合、弊社は一切の責任を負いません。
- ハードディスクなどの記録メディアが物理的に故障したり、内部データが損傷することで録画した番組が視聴できなくなっても、弊社は一切の責任を負いません。
- お客様が使用されたハードディスクが故障や破損などをした場合には、弊社は一切の責任を負いません。

本機で利用できる機器・使用できない機器

- 本機に登録できるUSBハードディスクは8台までです。
- 本機に録画用として登録できる機器は160GB以上のUSBハードディスクです。
- 電源供給型のハードディスク(標準規格USB2.0HDD)をご使用ください。なおお使いの際はハードディスクに付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- バスパワータイプ(電源非供給タイプ)のハードディスクは使用できません。
- USBフラッシュメモリは使用できません。
- USBハブは使用できません。必ず本機のUSB接続端子にハードディスクを直接接続してください。
- 複数台のハードディスクを同時に接続しての使用はできません。
- Flash-SSD(ソリッドステートドライブ)は使用できません。
- 本製品の製造後に発売された新しいデータ書き込み速度やデータ転送方法では使用できない場合があります。
- 本製品の製造後に発売されたハードディスクは使用できない場合があります。

使用上のご注意 (つづき)

ハードディスクご使用上の注意

- ハードディスクを使用中 (アクセス中) に本機から取り外すと、ハードディスクが破損したり、以降の録画や再生が正常におこなえなくなる場合がありますのでご注意ください。
- ハードディスクを取り外す際は、必ず設定メニューから「取り外し」で取り外し操作をおこなってから取り外してください。
- USBケーブルやハードディスクは信頼のおける高品質なものをお使いください。本製品で使用できるハードディスクは、DVDディスクなどと異なり半永久的に使用・保存できる記録メディアではありません。録画した番組が物理的に破損したり、内部のデータが損傷することで録画した番組が再生できなくなる可能性があります。恒久的に記録しておきたい番組を録画する場合は複製コピーやムーブができるCPRM対応録画チューナーなどの使用をおすすめします。

USBハードディスクの取り扱いについて

- 物理的な衝撃 (落下、重量物を載せるなど) を与えないでください。
- 不安定な場所で使用しないでください。
- 分解したり、変形させないでください。
- 磁気を近づけないでください。
- 電磁波が出ていると思われる場所の付近で使用しないでください。
- 高温になる場所 (直射日光の当たる窓際など) で使用しないでください。

本機で受信できる放送

本機では以下の種類のデジタル放送を受信することができます。

地上デジタル放送

地上波のUHF帯の電波を使っておこなわれるデジタル放送です。

- ・ ゴーストや雑音のない、高品質・高画質の映像を楽しむことができます。

BSデジタル放送

放送衛星 (Broadcasting Satellite：通称BS) を使っておこなわれるデジタル衛星放送です。

- ・ ハイビジョン放送を中心に、データ放送などの多種多様なサービスがおこなわれています。
- ・ 一部のチャンネルは有料となります。視聴するには、放送事業者ごとに加入申し込みと視聴契約が必要です。

110度CSデジタル放送

通信衛星 (Communications Satellite：通称CS) を使っておこなわれるデジタル衛星放送です。

- ・ ニュースや映画、ドラマ、スポーツ、音楽などの専門チャンネルが数多くあります。
- ・ ほとんどのチャンネルは有料となります。放送事業者への加入申し込みと視聴契約が必要です。

メモ

- ・ 本機では地上デジタル放送のワンセグ放送は受信できません。
- ・ 本機では4K放送は受信できません。

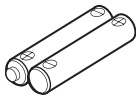
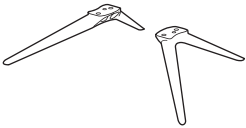
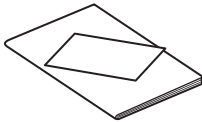
ケーブルテレビでご視聴の場合

ご契約のケーブルテレビ会社にご相談ください。

準備する

付属品

以下の付属品がすべて揃っているかご確認ください。

リモコン 【1個】		miniB-CAS カード 【1枚】	
		単 4 形乾電池 (動作確認用) 【2本】	
スタンド 【2個】		取扱説明書 (本書)、 保証書 【各 1 部】	
スタンド取り付けねじ 【4本】			

※ 本書に記載のイラスト・画面などは説明のため、実際のものとは異なる場合があります。

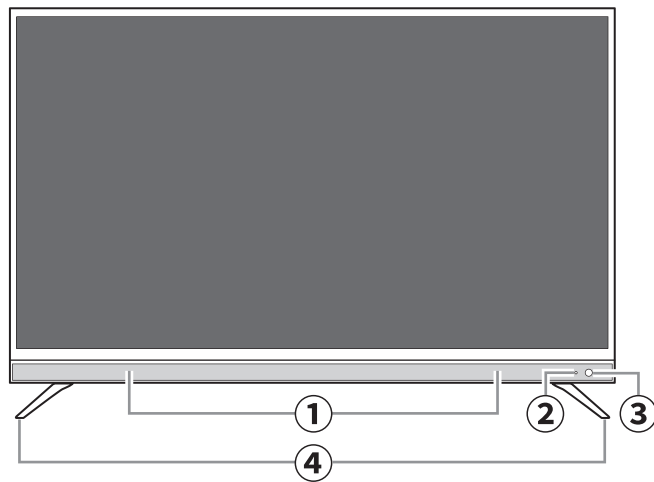
※ 本製品にはアンテナケーブル・HDMI ケーブル・LAN ケーブルなどは付属しておりません。ご使用環境に合わせて別途お買い求めください。

各部のなまえ

本体

準備する

【正面】



- ① スピーカー
- ② 電源ランプ

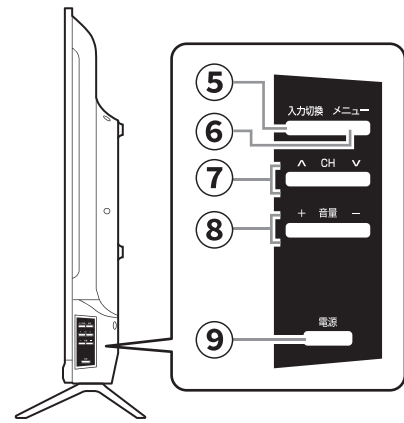
本機の状態を以下の点灯表示でお知らせします。

赤色に点灯	スタンバイ
青色に点灯	電源「入」

※USBハードディスク録画中、もしくはスタンバイ時に視聴予約、録画予約が設定されている場合は、電源ランプがゆっくり青色に（約7秒に1回）点滅します。

- ③ リモコン受光部
- ④ スタンド

【右側面】

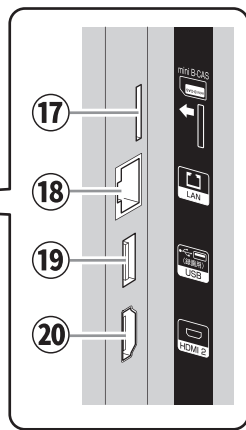
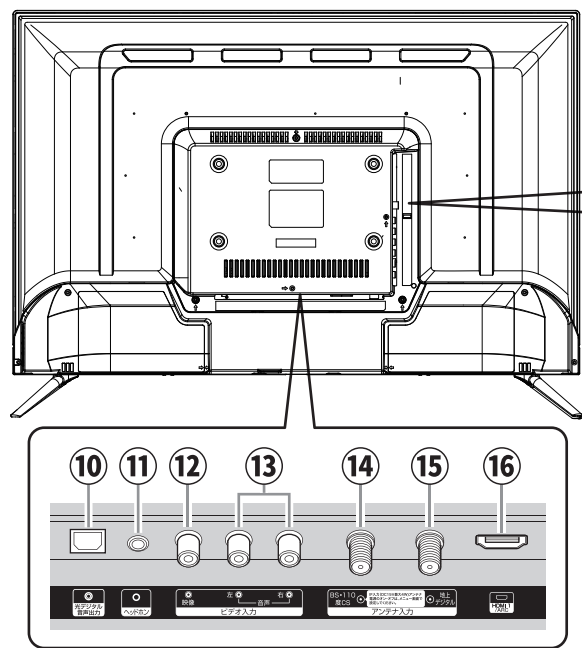


本体操作部

以下はリモコンの各ボタンと同じはたらきをします。
※メニューの表示時は〔 〕内のはたらきをします。

- ⑤ 入力切換
- ⑥ メニュー
- ⑦ CH (チャンネル) 上／下
- ⑧ 音量+／-
- ⑨ 電源

【背面】



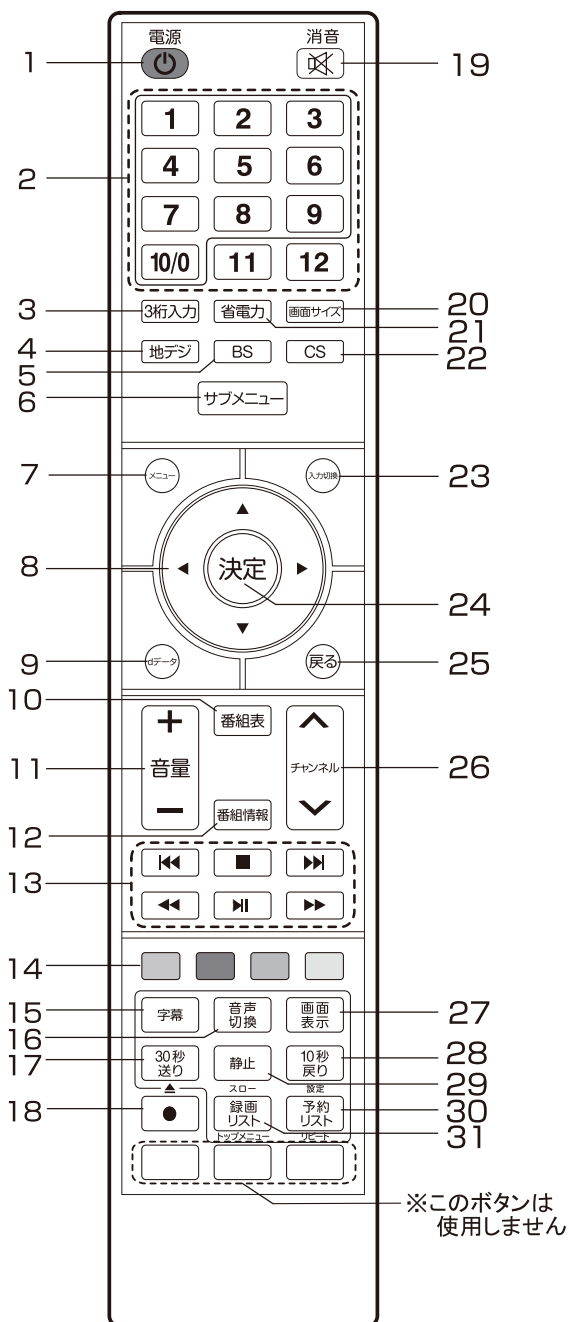
- ⑩ 光デジタル音声出力端子
- ⑪ ヘッドホン端子
- ⑫ ビデオ入力端子 (映像)
- ⑬ ビデオ入力端子 (音声左・右)
- ⑭ BS・110度CSアンテナ入力端子
- ⑮ 地上デジタルアンテナ入力端子
- ⑯ HDMI入力1 (ARC) 端子
- ⑰ miniB-CASカード挿入口
- ⑱ LAN 端子
- ⑲ USB 端子 (録画用)
- ⑳ HDMI入力2端子

各部のなまえ (つづき)

リモコン

1. **電源ボタン**
テレビの電源を「オン」「オフ」します。
2. **1～12の数字ボタン**
チャンネルの選局などに使います。
3. **3桁入力**
3桁のチャンネル番号を直接入力する時に押します。
4. **地デジ**
地上デジタル放送に切り換えます。
5. **BS**
BSデジタル放送に切り換えます。
6. **サブメニュー**
サブメニューを表示します。
7. **メニュー**
設定メニューを表示します。
8. **▲▼◀▶**
項目などを選択します。
9. **dデータ**
データ放送画面を表示します。
10. **番組表**
番組表を表示します。
11. **音量+/-**
音量を調節します。
12. **番組情報**
番組情報を表示します。
13. **録画番組のボタン**
録画番組の再生操作をするときに使います。
14. **青赤緑黄**
データ放送画面や設定メニューなどの操作に使います。
15. **字幕**
字幕の表示・非表示を切り換えます。
16. **音声切換**
二ヶ国語などの音声を切り換えます。
17. **30秒送り**
再生中の録画番組を30秒送りします。
18. **● 録画ボタン**
見ている番組を録画します。
19. **消音ボタン**
一時的に音を消します。
もう一度押すと元の音量に戻ります。
20. **画面サイズ**
表示画面のサイズを切り換えます。
21. **省電力**
画面の明るさを抑えて消費電力を低減します。
22. **CS**
110度CSデジタル放送に切り換えます。
23. **入力切換**
外部入力画面に切り換えます。
24. **決定**
選択している項目を確定します。
25. **戻る**
ひとつ前の画面に戻ります。

26. **チャンネル▲▼**
チャンネルを順送りで選局します。
27. **画面表示**
画面にチャンネル番号などを表示します。
28. **10秒戻り**
再生中の録画番組を10秒戻しします。
29. **静止**
録画番組再生中:再生中の映像を一時停止します。
テレビ視聴中:画面を静止させます。
30. **予約リスト**
予約リストを表示します。
31. **録画リスト**
録画リストを表示します。



スタンドを取り付ける

お願い

- ・本製品に貼り付けられている保護フィルムなどはキズ防止のため、必ずスタンドの取り付けおよび本体の設置が完了してからはがしてください。

1 梱包箱から本体と付属品を取り出す

スタンドとスタンド取り付けねじは梱包箱に入っています。

①ご注意

- ・ 梱包箱から取り出すときは、液晶パネルを持たないでください。

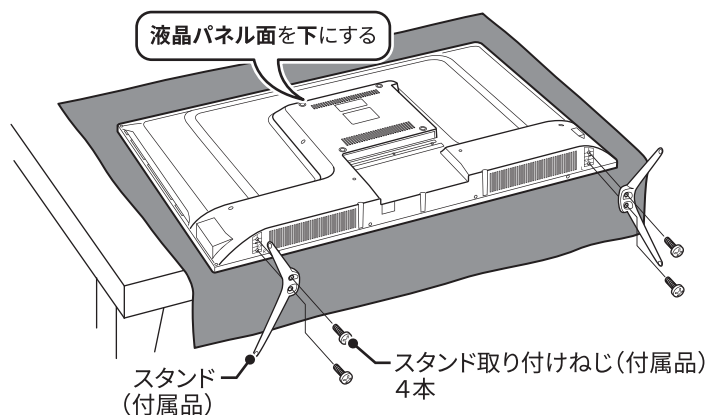
2 本体を図のように置き、スタンドの向きに注意しながら本体にスタンドを取り付ける

本体を取り出し、きれいなやわらかい布などを敷いた平らな台の上に、本体液晶パネル面を下にして置きます。

そのあと、本体底面にあるねじ穴にスタンドを合わせ、スタンド取り付けねじ4本でしっかりと固定します。

※ 本体側とスタンドのL/R表示を合わせて取り付けてください。

※ 取り付けにはプラスドライバー（市販品）が必要です。



①ご注意

- ・ 液晶パネルをキズつけたり、割らないよう十分ご注意ください。

3 取り付け確認をする

本体を起こし、平らな場所に置きます。

本体を軽くゆすってみて、ゆるみや歪み、ガタツキなどがいないかを確認してください。

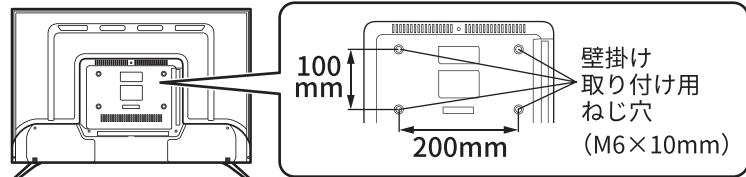
また、スタンドの前後方向に間違いがないか、再度確認してください。

メモ 壁掛け設置について

- ・ 市販の壁掛け金具を使用することで、本製品を壁に掛けて設置することができます。本機背面のねじ穴（4か所）の寸法図は右記のとおりです。

※ 詳しい設置のしかたは市販の壁掛け金具の取扱説明書をご確認ください。

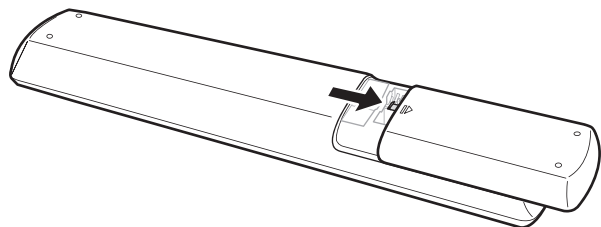
【背面】



リモコンの準備と使いかた

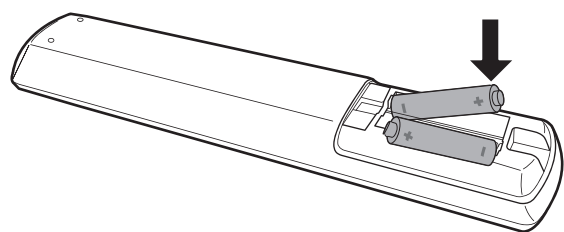
乾電池を入れる

1 電池カバーを外す



軽く押し下げながら、指定の方向にスライドさせてください。

2 乾電池を入れる

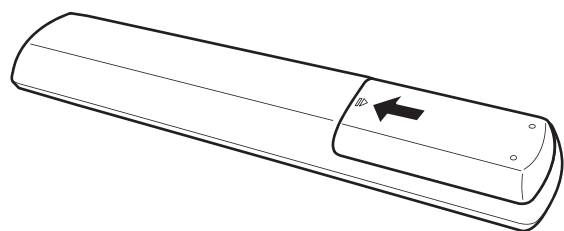


単4形乾電池2本（付属品）をケース内の表示通りに入れます。

● ⊕, ⊖ の極性表示をよくお確かめのうえ、正しく入れてください。

※ 付属の単4形乾電池は動作確認用です。早めに市販品と交換してください。

3 電池カバーを閉める



指定の方向に向かって、パチンと音がするまでカバーをスライドさせます。

使いかた

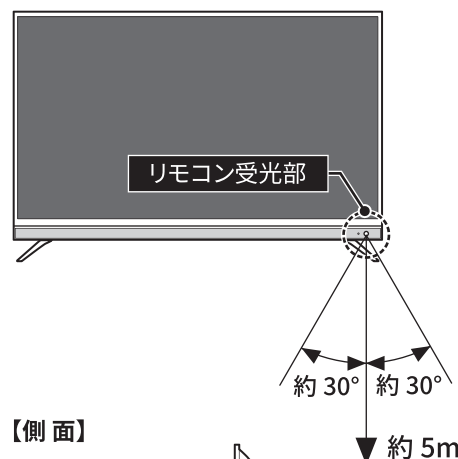
リモコンの先端をテレビ本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

リモコンの操作範囲

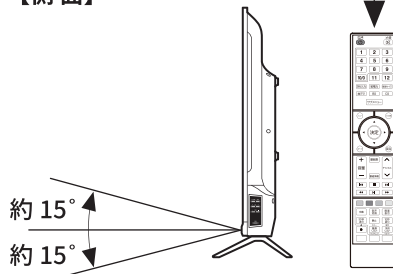
[本体リモコン受光部から]

距離	約5m以内
角度	左右約30°以内、上下約15°以内

【正面】



【側面】



- リモコン操作でテレビが動作しない場合（テレビ本体のボタンでは動作する）は、リモコンの乾電池寿命が考えられます。新しい乾電池に交換してください。
- 本体のリモコン受光部に直射日光や強い照明が当たっているとリモコン操作がしにくくなります。照明またはテレビの向きを変えるか、リモコン受光部に近づけて操作してください。

①ご注意

- ・ リモコンを直射日光の当たる場所に放置しないでください。熱により変形したり、誤動作する場合があります。
- ・ 水にぬらしたり、温度や湿度の高い所に置かないでください。
- ・ リモコンを落としたりして強い衝撃を与えないでください。

※ 使用済みの乾電池について
使用済みの乾電池は、お住まいの地域で定められた規則に従って正しく廃棄処分してください。

B-CAS カードを挿入する

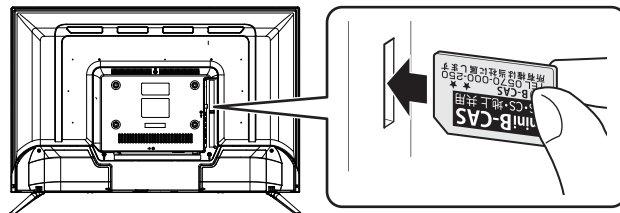
デジタル放送を視聴するには、B-CAS（ビーキャス）カードが必要です。

※ 本機は「miniB-CASカード」を使用します。

1 miniB-CASカードを取り出す

付属のminiB-CASカードを台紙から取り出します。

※ miniB-CASカードのカード・台紙に記載されている契約約款を必ずお読みください。



2 miniB-CASカードを挿入する

本体の電源が「切」になっていることを確認し、カードの向きに注意しながら背面の挿入口に付属のminiB-CASカードを「カチッ」と鳴るまで差し込みます。

● カードは図のように矢印の先端を先にして奥までしっかりと挿入してください。

miniB-CASカードの取り扱いについて

- カードを抜き差しするときは、必ず本体の電源を切る。
- カードを折り曲げたり、変形させない。
- 金色端子部には手をふれない。
- 水をかけたり、ぬれた手でさわらない。

B-CAS カードについてのお問い合わせ(故障・交換・紛失時など)

(株) ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ
カスタマーセンター
TEL : 0570-000-250

準備する

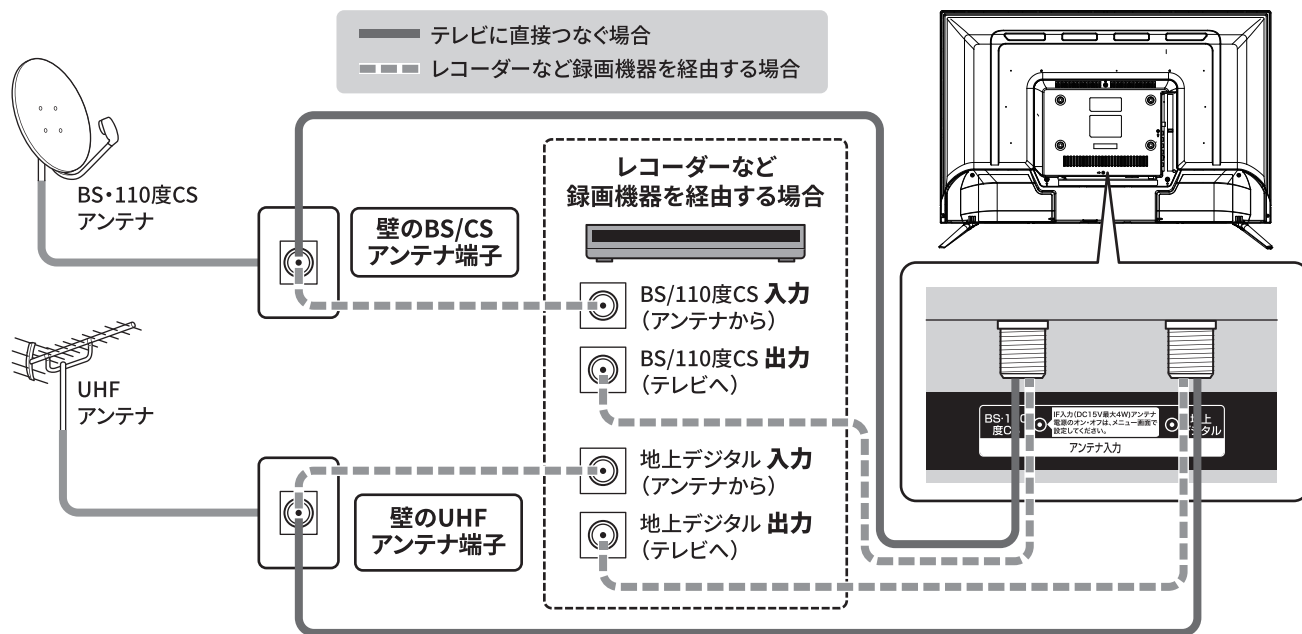
アンテナを接続する

本書に記載の接続例は一例です。ご使用環境により接続のしかたが異なります。

なお、本製品にはアンテナ接続に必要なケーブル、分波器などは付属しておりません。ご使用環境に合わせて必要な市販品を別途お買い求めください。

※ CATV（ケーブルテレビ放送）を受信する場合はお使いのケーブルテレビセットトップボックスの取扱説明書に従って接続をおこなってください。ご不明な点はご加入のケーブルテレビ局にお問い合わせください。

「地上デジタル放送」と「衛星デジタル放送」を“別々のアンテナ”で受信しているとき

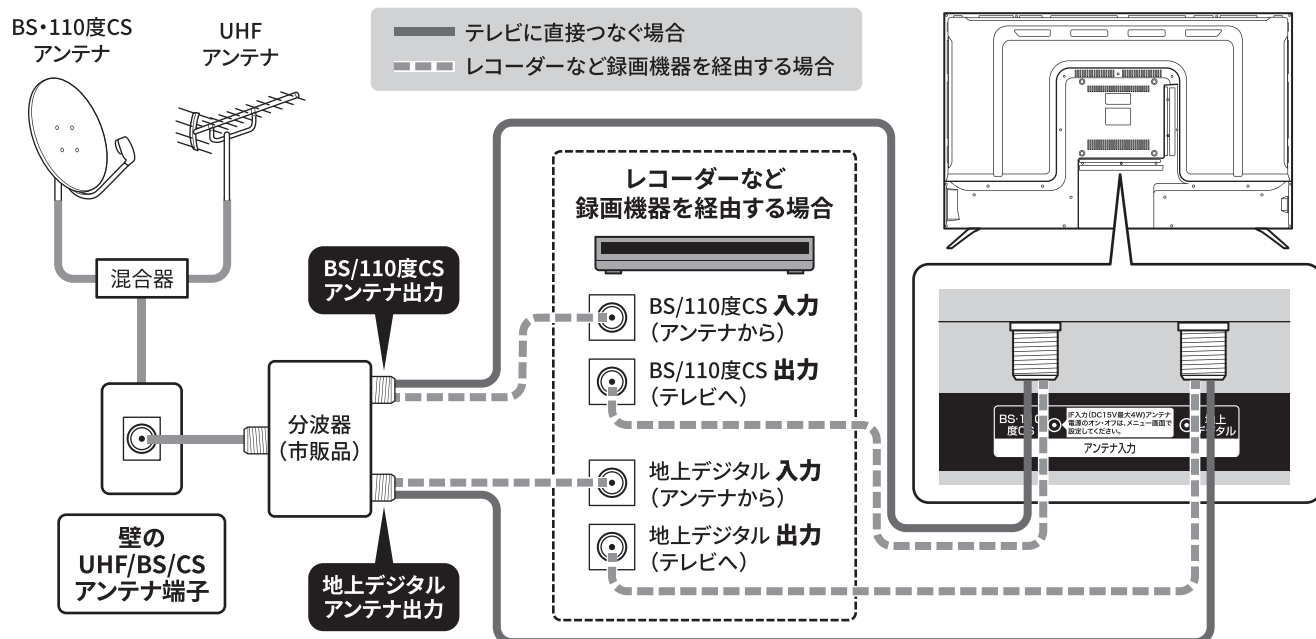


メモ

- 衛星放送用の個別アンテナを使用する場合は、衛星アンテナ電源を「オン」にする必要があります。詳しくは「BS/CSアンテナのアンテナ電源について」(➡次ページ参照)。

アンテナを接続する(つづき)

「地上デジタル放送」と「衛星デジタル放送」を“共同アンテナ”で受信しているとき



BS/CS アンテナのアンテナ電源について

BS/110度CS アンテナを個別に設置している場合は、アンテナへの電源供給が必要です。下記の接続例を参考にBS/CS アンテナ電源の設定をおこなってください。

※ 設定のしかた

「衛星デジタル放送のアンテナを調整する」(⇒ 51 ページ参照)

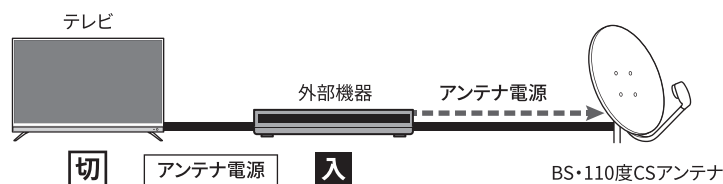
テレビに直接アンテナを接続する場合

テレビからアンテナへ電源を供給します。



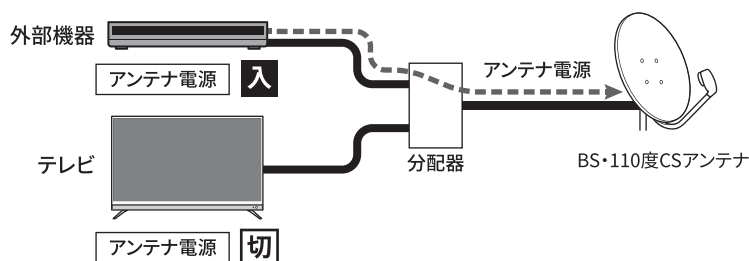
外部機器を介してアンテナを接続する場合

外部機器からアンテナへ電源を供給します。



分配器を介してアンテナを接続する場合

電流通過端子を外部機器側にして、外部機器からアンテナへ電源を供給します。

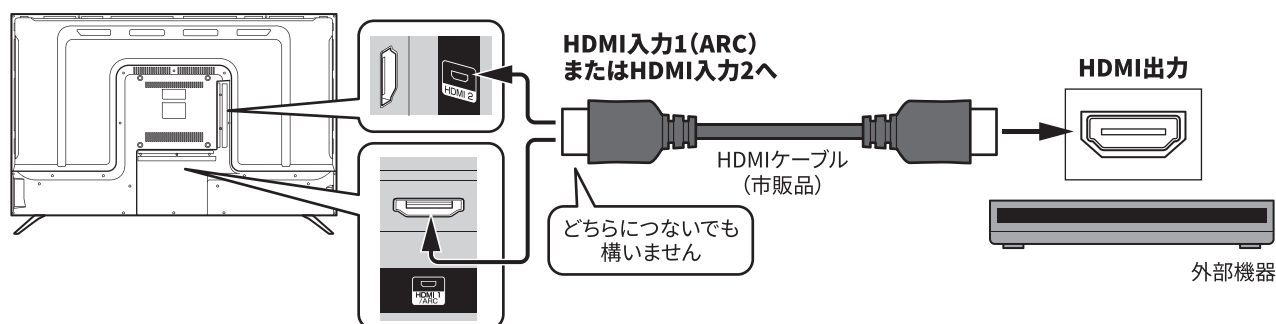


外部機器を接続する

本製品には外部機器接続に必要なケーブルは付属しておりません。
ご使用環境に合わせて必要な市販品を別途お買い求めください。

HDMIケーブルでつなぐ

ケーブル1本で、高画質・高音質で楽しめます。

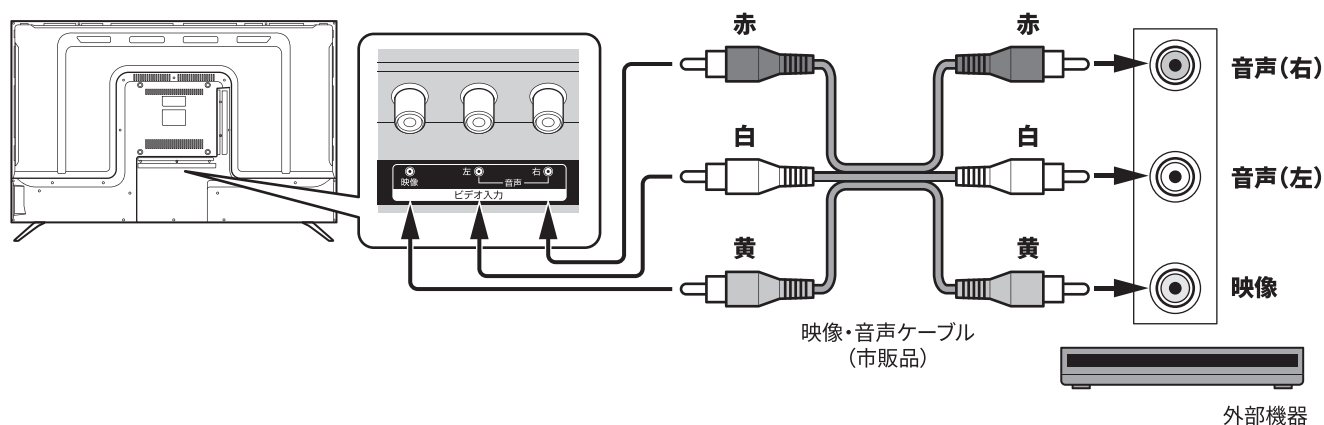


メモ

- HDMIケーブルは、HDMIロゴ (**HDMI**) の表示があるものをご使用ください。また、外部機器から1080pの映像信号を入力する場合は、ハイスピードHDMIケーブルをお使いください。スタンダードHDMIケーブルでは正しく動作しない場合があります。
- ARC (オーディオ・リターン・チャンネル) 対応機器は、HDMI入力1 (ARC) 端子に接続してください。
- 映像・音声が出力されない場合は、接続する機器の取扱説明書などで設定をご確認ください。

映像・音声変換ケーブルでつなぐ

HDMIケーブルでの接続に比べ、画質・音質が劣ります。



外部機器を接続する (つづき)

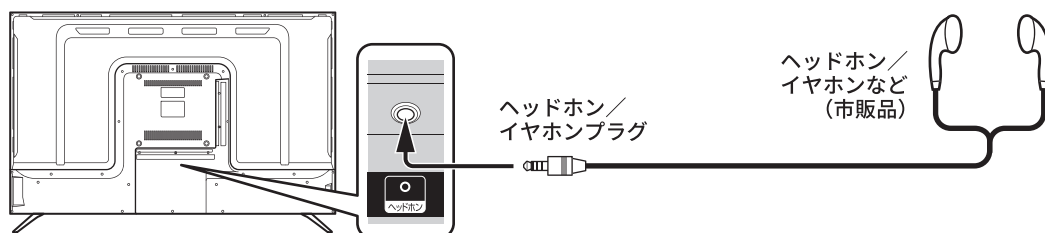
ヘッドホン／イヤホンをつなぐ

ヘッドホン／イヤホンプラグ (3.5mm) をヘッドホン端子に接続します。

※ ヘッドホン／イヤホンプラグ (3.5mm) を接続する前に必ずヘッドホン音量を最小にしてください。(⇒ 44 ページ参照)

※ ヘッドホン／イヤホンプラグ (3.5mm) を接続しているとき、本機スピーカーからも音声を出力する／しないを設定することができます。(「音声同時出力」⇒ 44 ページ参照)

※ ヘッドホン／イヤホンを長時間使用しますと耳に悪影響を与えることがありますのでご注意ください。



デジタル音声 (光) 端子付のオーディオ機器をつなぐ

ミニコンポなどのオーディオ機器に接続するとき

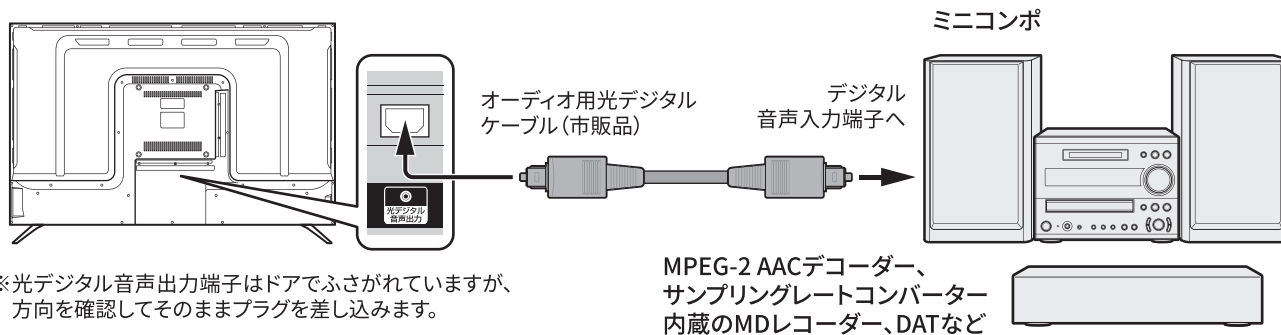
- 本機の音量を最小に調節し、ミニコンポなどのオーディオ機器側で音量を調節してご使用ください。
- オーディオ機器が対応しているデジタル音声入力にしたがって、「デジタル音声出力」(⇒ 44 ページ参照) の設定をします。

サンプリングレートコンバーター内蔵のMD レコーダーや DAT に接続するとき

- MD レコーダーや DAT の光デジタル音声入力端子に接続すれば、高音質で録音して楽しむことができます。
- 「デジタル音声出力」(⇒ 44 ページ参照) を「PCM」に設定します。

MPEG-2 AAC デコーダーに接続するとき

- デジタル放送の MPEG-2 AAC 方式の信号を、MPEG-2 AAC デコーダーで楽しむことができます。



※デジタル音声ケーブルのプラグには 2 種類の形状があります。接続する機器の端子形状に合ったケーブルをお買い求めください。
本機側に差し込むプラグの形状は、 です。

メモ

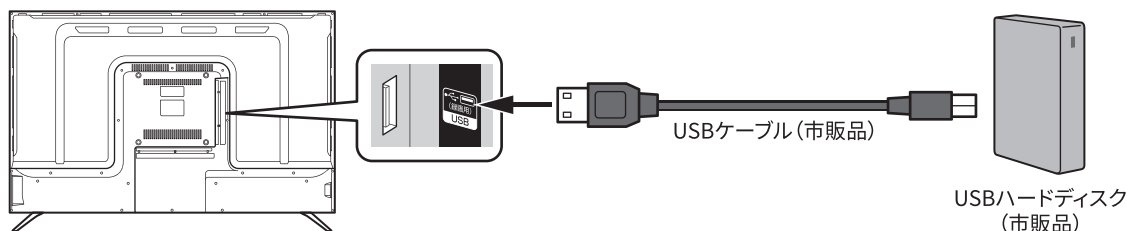
- デジタル音声出力端子からは、テレビのスピーカー音声と同じ音声のデジタル信号が出力されます。ただし、音声調整の効果は得られません。
- サンプリングレートコンバーターを内蔵していないMDレコーダーには、デジタル信号での録音はできません。
- MPEG-2 AAC 音声の場合には、主音声・副音声の切換は本機ではおこなわれません。MPEG-2 AAC デコーダー側で切り換えてください。
- HDMI 入力の選択時に、入力信号が著作権保護されている場合は、デジタル音声出力端子から出力される信号をほかの機器に録音することはできません。

USB ハードディスクを接続する

本機にUSBハードディスク（市販品）をつないで番組録画ができます。

メモ

- ・ 録画をするには本機への登録が必要です。



- 本機に登録できるUSBハードディスクは8台までです。
- 本機に録画用として登録できる機器は160GB以上のUSBハードディスクです。
- 電源供給型のハードディスク（標準規格USB2.0HDD）をご使用ください。
お使いの際はハードディスクに付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- バスパワータイプ（電源非供給タイプ）のハードディスクは使用できません。
- USBハブは使用できません。必ず本機のUSB接続端子にハードディスクを直接接続してください。
- 複数台のハードディスクを同時に接続しての使用はできません。

LAN ケーブルを接続する

LAN 接続することでデータ放送の双方向サービスを利用できます。クイズ番組への回答や番組内でのアンケートなどの情報を送ることができます。

- 双方向サービスを利用しない場合、LAN への接続は必要ありません。

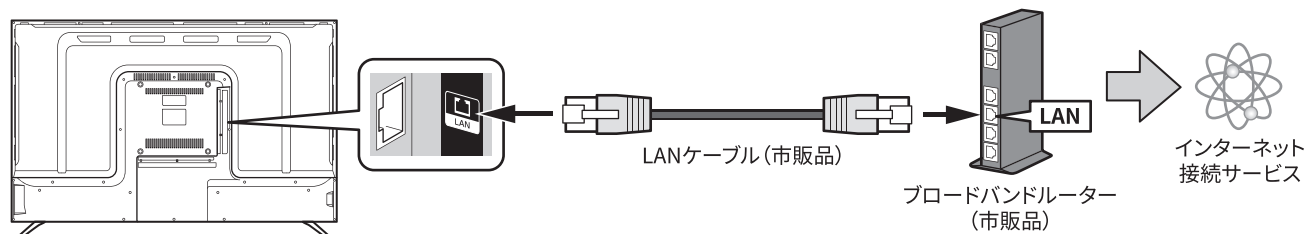
市販のLAN ケーブルを使い、お使いのブロードバンドルーターなどのLAN ポートと本機のLAN 端子を接続します。

接続が済んだら、必要に応じて「通信設定」(➡ 45ページ参照)をおこなってください。

①ご注意

- ・ 本機はインターネット閲覧用ブラウザを搭載しておりませんので、ウェブサイトの閲覧はできません。

※ インターネット接続環境が必要です。詳しくはお買い上げの販売店やインターネットサービスプロバイダー、回線事業者にご相談ください。
※ 下記は一般的な接続例です。

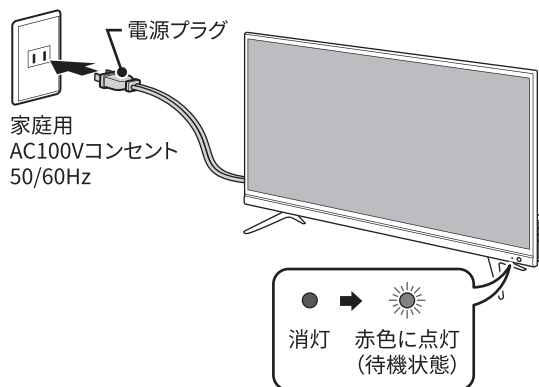


電源を入れる

お願い

- 電源プラグはすべての接続が完了してから電源コンセントに差し込んでください。

本体背面にある電源コードの電源プラグを、家庭用コンセントにしっかりと差し込みます。



ご購入後はじめて電源を入れたとき

電源プラグを差し込むと本機が「待機状態」になり、前面の電源ランプが赤色に点灯します。

本体またはリモコンの電源ボタンを押すと「かんたん設置設定」画面が表示され、放送受信に必要な設定を順におこなうことができます。

次ページ以降の手順に従い、設定をおこなってください。

電源を入／切する

- 電源「切」(待機状態) のとき
(電源ランプ：赤色に点灯)

リモコンの^{電源} または本体操作部の電源ボタンを押すと、電源が「入」になります。

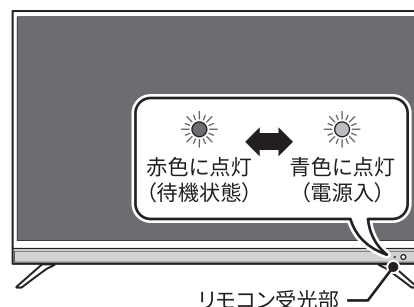
※画面が表示されるまでにしばらく時間がかかります。

電源ランプが赤色→青色の点灯に変わります。

- 電源「入」のとき
(電源ランプ：青色に点灯)

リモコンの^{電源} または本体操作部の電源ボタンを押すと、電源「切」(待機状態) になります。

電源ランプが青色→赤色の点灯に変わります。



電源

を押す

リモコン受光部に向けて操作してください。

または本体右側面にある電源ボタンを押します。



- 本製品は電源が「切」(待機状態) のときでも番組表などの情報を更新しています。
電源の入／切はリモコン、または本体操作部の電源ボタンでおこない、お手入れの際や長期間ご使用にならない場合を除き、通常は電源プラグをコンセントに差したままにしておいてください。

「かんたん設置設定」をする

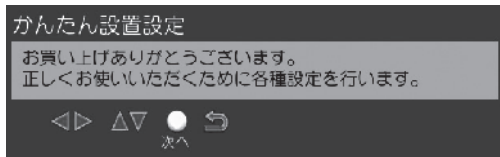
ご購入後はじめて本機の電源を入れたときは、「かんたん設置設定」画面になり、放送受信に必要な設定を順におこなうことができます。

画面に表示される指示に従い、設定をおこなってください。

「かんたん設置設定」の操作は、付属のリモコンを使用しておこないます。

準備する

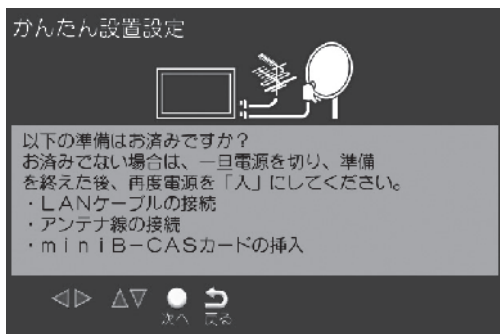
1 テレビの電源を「入」にする



「かんたん設置設定」画面が表示されます。

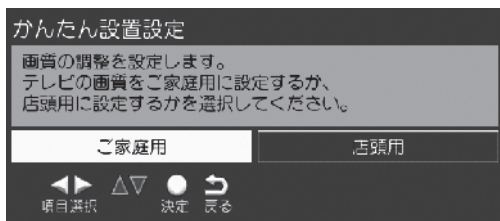
決定を押す

2 表示された内容をよく読む



準備が整ったら **決定**を押す

3 画質設定

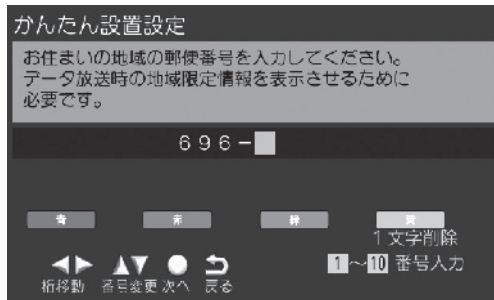


ご使用環境に合わせて[ご家庭用]または[店頭用]のいずれかを選びます。

ご家庭用	本機をご家庭でご使用される場合(通常はこちらを選びます)
店頭用	店頭表示用の設定

決定を押す

4 郵便番号設定



お住まいの地域の郵便番号を入力します。

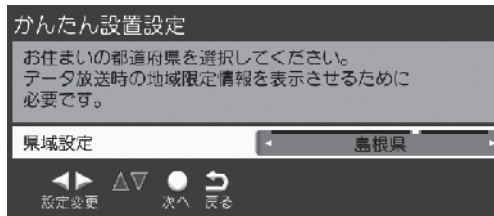
1 ~ **9**、**10/0**で入力する
入力が終わったら **決定**を押す

●「0」を入力するには **10/0**を押します。

●でも入力できます。

●間違えたときは **黄**を押すたび、1文字ずつ削除できます。

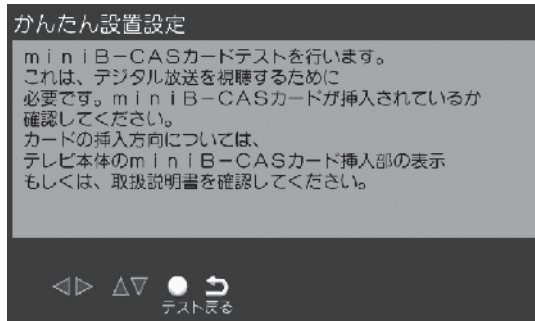
5 県域設定



お住まいの都道府県を入力します。

決定で選び、**決定**を押す

6 miniB-CASカードテスト

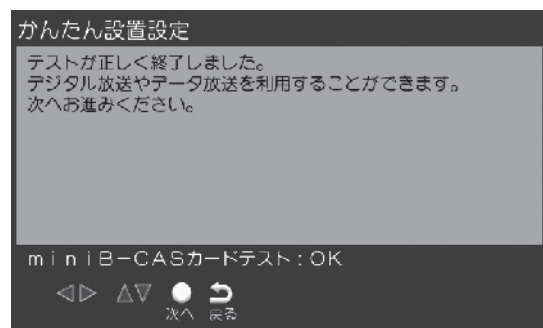


miniB-CASカードの識別テストをおこないます。

準備が整ったら **決定**を押す

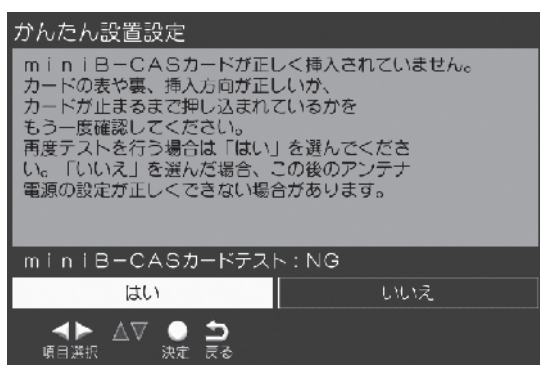
「かんたん設置設定」をする(つづき)

テストが正しく終了すると、画面左下に「miniB-CASカードテスト：OK」と表示されます。

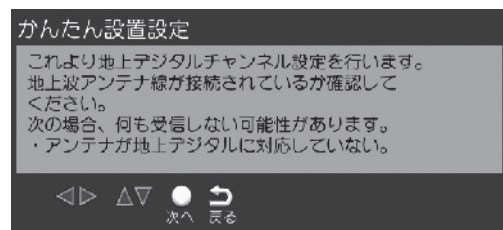


「OK」が表示されたら **決定** を押す

- 「NG」と表示されたときは、カードが正しい向きで、奥までしっかりと挿入されているかを確認し、再度テストをおこなってください。



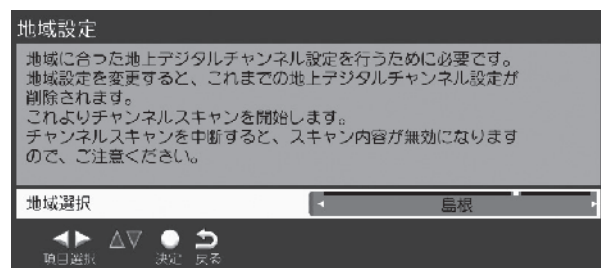
7 地上デジタルチャンネル設定



地上デジタル放送の受信チャンネル設定をおこないます。

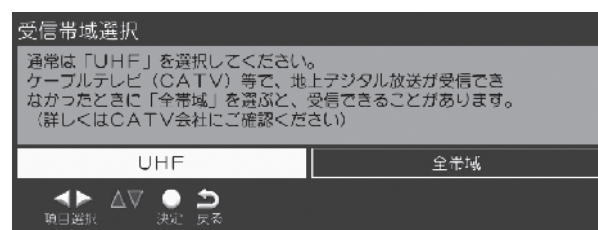
画面の内容を確認し、**決定** を押す

お住まいの都道府県を入力します。



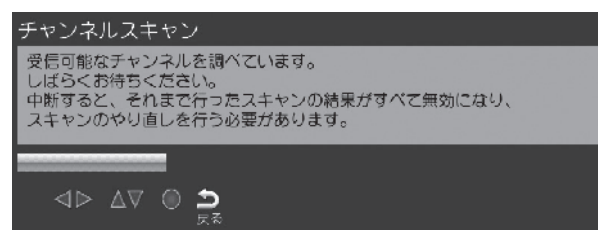
で選び、**決定** を押す

受信帯域を選びます(通常は[UHF]を選びます)。



で選び、**決定** を押す

チャンネルスキャンが始まります。



- 画面下部にチャンネルスキャンの進行状況が表示されます。

チャンネルスキャンが終了すると、受信チャンネルが一覧表示されます。

① ご注意

- ・ 音声が出ますのでご注意ください。



[次へ] が選ばれているので **決定** を押す

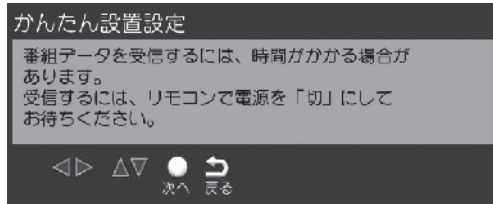
準備する

「かんたん設置設定」をする(つづき)

- 受信できなかった場合は、再設定確認画面が表示されます。アンテナの接続を確認し、再設定をおこなってください。



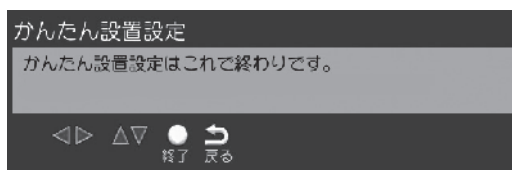
9 「かんたん設置設定」完了



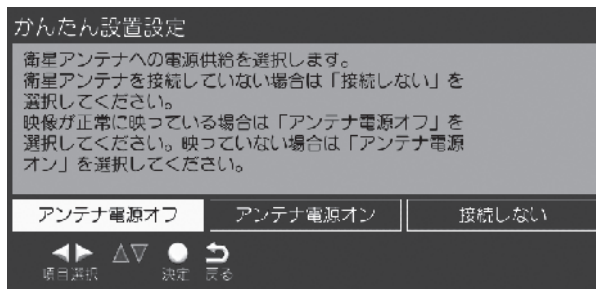
以下の画面が表示されるまで、

繰り返し **決定** を押す

以下の画面で **決定** を押すと設定が完了し、番組放送画面に切り換わります。



8 アンテナ電源設定



BS・110度CSアンテナに電源を供給する・しないを設定します。

アンテナ電源オフ	マンションなど共聴アンテナの場合
アンテナ電源オン	一戸建てなど、ご自宅でアンテナを設置している場合
接続しない	衛星放送を視聴しない場合

決定 で選び、**決定** を押す

メモ

- ・USBハードディスクを接続している場合は、機器登録の確認画面が表示されます。登録のしかたは「USBハードディスクを本機に登録する」(→ 32 ページ参照)

「かんたん設置設定」をやり直すとき

引っ越しなどで受信地域が変わったときなどは、以下の手順で「かんたん設置設定」をやり直すことができます。

① **メニュー** を押す

② **決定** で「機器設定」を選び、**決定** を押す

③ **決定** で「かんたん設定」を選び、**決定** を押す

テレビを見る

テレビ放送を見る

本書ではリモコンでの操作を中心に説明しています。
※ テレビ本体に同種のボタンがある場合は、同じように操作できます。

基本的な使いかた

- 1 電源を入れる
リモコンの  を押します。
 - テレビ本体前面下部にある電源ランプが赤色から青色の点灯になり、前回見ていたチャンネルが表示されます。

- 2 放送の種類を選ぶ

地デジ	…地上デジタル放送
BS	…BS デジタル放送
CS	…110度CS デジタル放送

- 3 チャンネルを選ぶ
チャンネルの選びかたには以下の方法があります。

リモコンボタンに設定されているチャンネルを選ぶ

見たいチャンネルの数字ボタン **1** ~ **12** を押す

チャンネルを順送り・逆送りで選ぶ

リモコンの  を押す

- 視聴しないチャンネルをスキップする（飛ばす）よう設定できます。（「選局対象」(⇒ 52 ページ参照)）

その他の選局方法

- 3桁チャンネル番号を入力して選ぶ
「3桁入力選局」(⇒ 次項参照)
- 番組表から番組を選ぶ
(⇒ 25 ページ参照)

その他のチャンネル選局のしかた

3桁入力選局

放送局の3桁のチャンネル番号を入力して選局します。

- ① **サブメニュー** を押す
- ② 「3桁入力選局」を選び、**決定** を押す
視聴している放送（地デジ／BS／CS）の3桁番号入力画面が表示されます。



- ② 3桁チャンネル番号を入力する
例) 「011」チャンネルを選ぶとき
10/0・**1**・**1** と順に押すと、チャンネルが切り換わります。

- 入力した文字を削除するには **黄** を押します。

音量を調節する

リモコンの  を押す

- +を押すと音量が大きく、-を押すと小さくなります。

音を一時的に消す（消音）

リモコンの **消音** を押す

- 消音中は画面左下に  が表示されます。
- もう一度押すともとの音量に戻ります。
※ 音量ボタンを押しても消音を解除できません。

テレビ放送を見る (つづき)

枝番選局 (地上デジタル放送のみ)

お住まいの地域によっては隣接する他地域の放送も受信できる場合があります。このように同じチャンネル番号の放送が複数受信できた場合、3桁のチャンネル番号に枝番を付与して区別します。

- ① **サブメニュー**を押す
- ② 「枝番選局」を選び、**決定**を押す

「枝番選局」画面が表示されます。



- ③ 表示された中から見たい放送を選び、**決定**を押す
選んだチャンネルが表示されます。

- ②の「枝番選局」画面で **緑** を押すと、選択中の放送局を「主選局」に設定します。

以降チャンネル番号を入力したときは、この「主選局」に設定した放送局が選局されるようになります。

番組表を使う

番組表から番組を選ぶ

番組表には、現在放送中の番組から8日分の放送予定番組が表示されます。

表示された中から番組を選んで視聴したり、番組を検索して予約設定をしたりすることができます。

番組表を押す

8日分の番組表が表示されます。
番組表には、右図のような情報が表示されます。

メモ

- 電源を入れた直後は、番組表が表示されるまで1分程度時間がかかる場合があります。
- 本機は電源を切っても、定期的に放送局からの番組情報などを更新しています。電源を切るときは、電源プラグをコンセントから抜かずに、本体またはリモコンの電源ボタンでお切りください。

地上D番組表 1月2火 3水 4木 5金 6土 7日 8月 ○月○日(月)午前10:00
午後9:00~午後11:00 ベースボール・レジェンド 「伝説を作る男たち」[解]

	[6] 061 TBE1	[7] 071 東京テレビ1	[8] 081 フジテレビ	[1] 011 MHK総合1・東京	[2] 021 MHKテレビ1・東京	[4] 041 テレビ1	[5] 051 朝テレビ
PM 7	00 決定的な出来事を記録したカメラ	00 フィッシュオン！ザ・ワールド	00 お笑い決定戦 笑いの大騒動！	00 イブニングニュース	00 小学生日記	00 ヨルナンデス	00 ザ・ドキュメンタリー選〜ボクらの居場所〜
PM 8	00 珍グルメスペシャル	00 名人のグルメ	00 こんなところに世界の秘境から	00 明日の料理	00 くるくす子育て	00 まる見え世界！	00 海外からいっしょに
PM 9	00 全国発掘グルメ特集	00 ベースボール・レジェンド「伝説を作る男たち」	00 風門公子〜凶状0〜#10	00 ニュース・クロック	00 鳴呼！ニッポンのビジネスマン	00 解決！あるあるアンサー	00 映画 ミッション・ボッ
PM 10	00 星といつまでも	00 ハイレベルなプレイヤー達が揃う、アメリカレジャーリーグの舞台で世界最高	00 ココが知りたい	00 スペシャリスト	00 名医に尋ねる	00 幸せ！ロンリー	00 トミー・クルーズの大人気...
PM 11	00 23 NEWS	00 Let's ロック	00 追憶のソナタ	00 ハラマズ	00 Let's! 芸能	00 59今から夜ふかし	00 30世界の台所から
AM 0	00 現代時代	00 アイドル	00 HNN NEWS	00 クロニクル	00 ミッドナイト	00 ワールドトラベル	00 ねこ探検

サブメニュー ● 戻る

青線部分には短い番組が存在します。
(カーソルを合わせると番組名が表示されます。)

選択中の番組(青色表示)
(視聴制限設定のある番組を選んだ場合は暗証番号入力画面が表示されます。)

予約している番組
予 (青)：視聴予約
予 (赤)：録画予約
☆：自動録画予約

テレビを見る

放送波を切り換える

番組表を表示中に **地デジ**・**BS**・**CS** を押す

ほかの曜日の番組表を見る

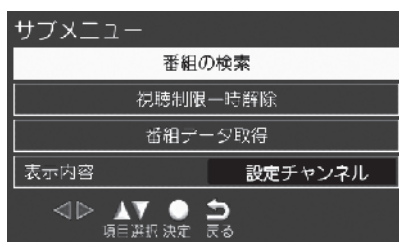
番組表を表示中に **黄** または **緑** を押す

● **黄** で翌日、**緑** で前日の番組表に切り換わります。

番組表表示中のその他の機能

番組表を表示中に **サブメニュー** を押す

「番組の検索」や「視聴制限一時解除」「番組データ取得」などのショートカットメニューが表示されます。



番組説明を見る

番組説明では、出演者や放送時間、その他番組に関する各種情報を確認できます。

番組表から見たい番組を **決定** を押す

またはリモコンの **番組情報** を押す

● **赤** で次のページ、**青** で前のページに切り換わります。

今すぐ番組を見る

1 番組表から現在放送中の見たい番組を

決定 を押す

2 **決定** で「今すぐ見る」を選び、**決定** を押す

● 番組表を消すには、**戻る**、**番組表** を押します。

番組表を使う (つづき)

番組表で視聴予約する

視聴予約をすると、番組の開始時刻になると見ている番組から自動でチャンネルが切り換わります。

①ご注意

- ・ 本機の電源が「切」の場合、「視聴予約」は無効となります。「視聴予約」をしても本機の電源が自動で「入」になるわけではありませんのでご注意ください。

1 番組表で視聴予約したい番組を

で選び、**決定**を押す

2 で「視聴予約」を選び、**決定**を押す

- 視聴予約した番組は、番組表に**予** (青色) が表示されます。

番組の放送時間の数秒前になると、自動的にチャンネルが切り換わります。

メモ

- ・ 視聴制限のある番組で暗証番号入力画面が表示された場合は、暗証番号の入力が必要となります。
- ・ 予約できる件数は「視聴予約」と「録画予約」を合わせて64件までです。

番組表で録画予約する

本機に接続したUSBハードディスクに番組を録画予約できます。

①ご注意

- ・ あらかじめUSBハードディスクを本機に録画用登録する必要があります。
- ・ USBハードディスクが接続されていないと、「録画予約」できません。

1 番組表で録画予約したい番組を

で選び、**決定**を押す

2 で「録画予約」を選び、**決定**を押す

- 録画予約した番組は、番組表に**予** (赤色) が表示されます。

メモ

- ・ 視聴制限のある番組で暗証番号入力画面が表示された場合は、暗証番号の入力が必要となります。
- ・ 予約できる件数は「視聴予約」と「録画予約」を合わせて64件までです。

番組表の表示内容を変更する

工場出荷時の設定では、「設定チャンネル」(下表参照)を番組表に表示しますが、表示する範囲を「全チャンネル」や「テレビのみ」に設定することができます。

1 番組表の表示中に**サブメニュー**を押す

2 で「表示内容」を選び、で項目を選んで、**決定**を押す

設定チャンネル	リモコンの 1 ～ 12 に登録されているチャンネルと、チャンネル設定で登録したチャンネルが選局されます。
テレビのみ	受信可能なテレビチャンネルすべてを表示します。
全チャンネル	受信可能なチャンネルすべてを表示します。

番組表を使う (つづき)

番組を探す (ジャンル検索)

番組表の中から番組をジャンル別に検索表示して、見たい番組をより探しやすくなります。

番組のジャンル	
映画	ドラマ
スポーツ	音楽
バラエティ	情報／ワイドショー
ニュース／報道	アニメ／特撮
ドキュメンタリー／教養	劇場／公演
趣味／教育	福祉

1 番組表の表示中に **サブメニュー** を押す

2  で「番組の検索」を選び、**決定** を押す

3 「ジャンル検索」を選び、**決定** を押す

4  で検索したいメインジャンルを一覧から選び、**決定** を押す

5  でサブジャンルを選び、**決定** を押す

メモ

- 検索結果は、各放送の番組データの取得状況によって変わります。例えば番組データの取得が完了していないチャンネルがある場合、そのチャンネルの番組は検索対象にはなりません。番組情報を取得するには次項「番組データを取得する」をご覧ください。

番組データを取得する

番組データを取得できていないチャンネルがある場合に、番組データを取得します。

1 番組データが取得されていない番組表を選び、**決定** を押す

- または、番組データが取得できていない番組表を選び **サブメニュー** を押し、 で「番組データ取得」を選んで **決定** を押すと、番組表を取得します。

視聴年齢制限番組を見る

「視聴制限設定」(➡ 47 ページ参照) を設定している場合、視聴年齢制限のある番組を選ぶときは暗証番号の入力が必要になります。

視聴年齢制限のある番組は、番組タイトルが「…」と表示されます。

1 「…」と表示されている番組を選び、**決定** を押す

※ 番組表の表示中に **サブメニュー** を押して「視聴制限一時解除」を選び、**決定** を押して暗証番号を入力することもできます。

2 **1** ~ **9**、**10/0** で暗証番号 (4 桁) を入力する

番組表の「…」表示が解除され、番組タイトルなどが表示されます。

※ 暗証番号はメモをするなど、忘れないようにしてください。

3   で番組を選び、**決定** を押す

音声や字幕を切り換える

音声を切り換える

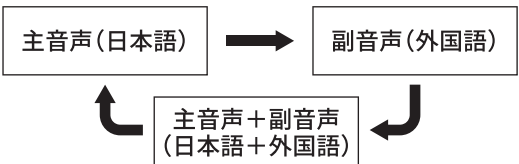
二ヶ国語放送などを視聴する際に音声を切り換えます。

音声切換を押す



画面右下に現在の音声が表示されます。

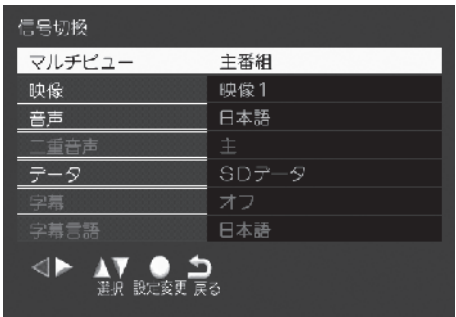
音声切換を押すたびに、音声切り換わります。
(切り換えできる音声がある場合のみ)



※ 主音声・副音声の内容は番組により異なります。

サブメニューで音声切換の設定をする

- ① **サブメニュー**を押す
- ② で「信号切換」を選び、**決定**を押す
信号切換画面が表示されます。



音声	日本語・英語など、音声言語を選ぶことができます。
二重音声	主音声・副音声などを選ぶことができます。

字幕を切り換える

字幕放送や文字スーパーのある番組を視聴する際に表示・非表示や表示する言語を切り換えます。
字幕放送番組は、番組表の番組説明に「**字**」が表示されます。

字幕を押す



画面右下に現在の設定が表示されます。

字幕を押すたびに、表示・非表示が切り換わります。
複数の字幕や文字スーパーがある場合は、表示する言語が切り換わります。

※ 字幕や文字スーパーの内容は番組により異なります。

メモ

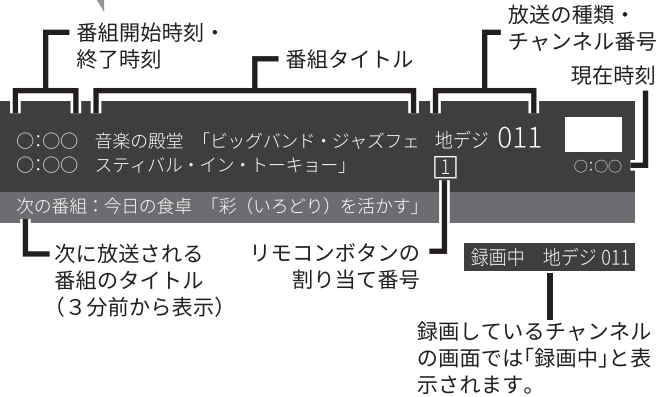
- 録画番組の再生中に**サブメニュー**を押すとサブメニューが表示され、字幕言語／音声切換／二重音声／視聴制限一時解除の設定ができます。

チャンネル情報を表示する サブメニューボタンを使う

視聴中のチャンネル番号・番組タイトルなどを画面に表示します。

画面表示を押す

チャンネル番号、放送局名、現在時刻、番組名、放送時間などが表示されます。



しばらくすると、画面上部の番組名が消え、チャンネル表示のみになります。

画面表示をもう一度押すと表示が消えます。

- 外部入力 (HDMI1・HDMI2) を選択しているときは、入力されている映像信号の種類 (VGA, 480i, 480p, 720p, 1080i, 1080p) が表示されます。

放送中の画面を静止する

放送番組の視聴中に画面を静止させることができます。(音声は放送中の状態のままです。)

静止を押す

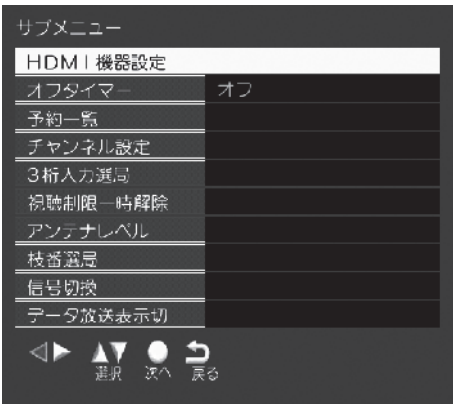
- 画面右上に「静止」と表示され、画面が静止します。もう一度押すと、放送中の画面に戻ります。
- ※ 音声は放送中の音声が出ます。

メモ

- 本機の操作をしないと、静止状態は約 10 分で解除されます。
- 視聴予約または録画予約が開始されると、静止状態は解除されます。

表示中の画面に応じて、よく使う機能や便利な機能などのショートカットメニューが表示されます。

サブメニューを押す



テレビ放送視聴中のサブメニュー項目

※ 下表に説明のない項目については、それぞれのページで詳しく説明しています。

HDMI 機器設定	⇒ 31 ページ参照
オフタイマー	⇒ 31 ページ参照
予約一覧	⇒ 36 ページ参照
チャンネル設定	⇒ 49 ページ参照
3桁入力選局	⇒ 23 ページ参照
視聴制限一時解除	⇒ 27 ページ参照
アンテナレベル	見ているチャンネルのアンテナレベルを表示します。 地上デジタル放送視聴中の場合は、 決定を押すと全放送局の受信状況が 一覧表示されます。
枝番選局*	⇒ 24 ページ参照
信号切換	視聴中の番組の下記設定項目を切り換えます。 ・ マルチビュー／映像／音声／二重音声／データ／字幕／字幕言語 ※ 設定できる項目、内容は番組により異なります。
データ放送表示切	データ放送の表示を中止したいときに押します。

* 地上デジタル放送視聴時のみ

- 表示されるサブメニューの項目は、表示中の画面によって異なります。以下の場合に表示されるサブメニュー項目については、それぞれのページをご覧ください。
- ・ 外部入力 (HDMI1 / HDMI2 / ビデオ) の選択中に押した場合 (⇒次ページ参照)
- ・ 録画番組の再生中に押した場合 (⇒ 37 ページ参照)

テレビを見る

データ放送を見る

デジタル放送の視聴中にはデータ放送を見ることができます。

デジタル放送視聴中に **データ** を押す



(画面はイメージです。表示や内容は放送局や番組により異なります。)

データ放送画面に切り換わります。

画面に表示される説明に従い操作すると、放送局が提供する情報や、番組に関連した情報などを見ることができます。

画面の操作は **決定**、**青** **赤** **緑** **黄** などでおこないます。

※ 操作できる内容や操作のしかたはデータ放送により異なります。

メモ

- 本機はインターネット（LAN）接続による双方向（データ放送）サービスに対応しています。（ご利用になるにはインターネット回線への接続が必要です。）
- 本機を起動してすぐや、チャンネルを切り換えたときなどは、データ放送の受信に時間がかかる場合があります。受信中は画面左下に「データを取得中です」と表示されます。

ほかの機器の映像を見る

本機の外部入力端子（HDMI1 / HDMI2 / ビデオ）に接続した外部機器（レコーダーやゲーム機など）の画面に切り換えます。

外部機器の電源を入れ、 **入力切換** を押す



画面右上に現在の入力が表示されます。

入力切換 を押すたびに、以下のように切り換わります。



* 本体操作部で操作した場合、「地デジ」表記となります。

** 本体操作部で操作したときのみ表示されます。

※ 上記画面の表示中にリモコンの **決定** で入力を選んで **決定** を押しても切り換えられます。

外部入力画面表示中のサブメニュー

外部入力画面の表示中に **サブメニュー** を押すとサブメニューが表示され、以下の項目の設定や確認ができます。

- HDMI 機器操作（ビデオ入力選択時は表示されません）
- HDMI 機器設定
- オフタイマー
- 予約一覧

メモ

本機には入力切換の際にお使いいただける、以下の便利な機能があります。
設定は「機器設定」メニューの「入力表示」(➡ 48 ページ参照)でおこないます。

●画面表示名の変更

画面に表示される名称を、接続した機器に合わせて変更することができます。

●入力端子のスキップ

外部機器を接続していない入力端子をスキップ（飛ばす）することができます。

外部機器の音声を設定する オフタイマーを使う

HDMI連動機能に対応したAVアンプを本機に接続している場合に、音声を本機または外部スピーカーから出力するよう設定できます。

1 サブメニューを押す

2  で「HDMI 機器設定」を選び、決定を押す

3 ご使用環境に応じて以下の設定をする

HDMI 機器選択	設定するHDMI接続機器を選択します。	
スピーカー選択	TV	テレビのスピーカー（およびヘッドホン端子）から音声を出力します。
	外部	テレビのスピーカー（およびヘッドホン端子）から音声を出力しません。

※ ARC（オーディオ・リターン・チャンネル）対応機器は、本機のHDMI入力1端子に接続してください。

①ご注意

- 接続する機器によっては、本機能の一部または全部をお使いになれない場合があります。

ヘッドホンやイヤホンで楽しむ

市販のヘッドホン／イヤホンを使用するときは、本体背面のヘッドホン端子に接続してください。

本体スピーカーから音声を出力する／しない

ヘッドホン／イヤホンを接続しているとき、同時に本体スピーカーからも音声を出力する、または出力しないよう設定できます。

※「音声同時出力」(➡ 44 ページ参照)

「音声同時出力」を「する」に設定している場合

- ヘッドホン／イヤホン、本体スピーカーの両方から音が出ます。
- ヘッドホン／イヤホンの音量だけを調節したいときは、「音声設定」の「ヘッドホン音量」で調節してください。

「音声同時出力」を「しない」に設定している場合

- ヘッドホン／イヤホンからのみ音が出ます。

リモコンの  でヘッドホン／イヤホンの音量調節ができます。

オフタイマーを設定すると、指定した時間経過後に本機の電源が切れます。テレビを見ながらおやすみになるときなどに便利です。

オフタイマー時間は30分後、60分後、90分後に設定できます。

メモ

- 設定した時刻に本機の電源を「入」にする「オンタイマー」機能もあります。
設定は「タイマー設定」メニューの「オンタイマー」(➡ 46 ページ参照)でおこないます。

サブメニューを押す

オフタイマーを選択する



で、希望の時間を選択し、決定を押す

90分
60分
30分
オフ

- 電源が切れる3分前になると、画面に「3分後」、「2分後」、「1分後」と点滅表示されます。
- 残り時間が「1分後」になると、画面が徐々に暗くなり、音量が小さくなります。その間に本機を操作すると、画面と音量はもとに戻ります。(ただしオフタイマーは解除されません。)

メモ

- オフタイマーが設定されているときに画面表示を押すと、画面に残り時間が表示されます。

録画・再生する

録画・再生内容の補償に関する免責事項

本機の何らかの不具合により、正常に録画ができなかった場合の内容の補償、録画および再生した内容（データ）の損失、および直接・間接の損害に対し、弊社は一切の責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

録画の前に（必ずご確認ください）

「USBハードディスク録画に関する注意事項」

（⇒ 7 ページ参照）もあわせてよくお読みください。

- 必ず本機にUSBハードディスクが接続されていることを確認してください。
- 本機での録画に使用するUSBハードディスクは、あらかじめ本機に録画用登録をする必要があります。なお、本機に登録するとUSBハードディスク内のデータはフォーマットされ、すべてのデータが消去されますので、事前にハードディスクの内容についてご確認ください。
- 本機に未登録のUSBハードディスクが接続されている場合、本機の操作時や機器接続時にハードディスク登録のメッセージが表示されます。その場合は表示に従い本機に登録してください。
- USBハードディスクに電源スイッチがある場合は、必ず電源を「入」にしてください。
- 本機に登録できるのは、容量が160GB以上のUSBハードディスクです。
- 本機でUSBハードディスクに録画した番組は、本機でしか再生できません。本機と同型の別機器であっても同様です。
- 本機の設定を初期化した場合、それまでUSBハードディスクに録画した番組の再生ができなくなりますのでご注意ください。
- デジタルラジオ放送の録音はできません。
- 録画中はリモコンで電源「切」にしても録画は続きます。
- USBハードディスク録画中、もしくはスタンバイ時に視聴予約、録画予約が設定されている場合は、電源ランプがゆっくり青色に（約7秒に1回）点滅します。

録画に必要な設定をする

本機に接続したUSBハードディスクに、本機で受信した番組を録画したり、録画した番組を再生したりするには、あらかじめUSBハードディスクを本機に登録する必要があります。

USBハードディスクを本機に登録する

本機に未登録のUSBハードディスクを接続すると、機器登録画面が表示されます。

※ お買い上げ後はじめて本機の電源を入れた際にUSBハードディスクが接続されている場合は「かんたん設置設定」完了後に機器登録画面が表示されます。

1   で「はい」を選び、 を押す

2 再生に関する注意事項が表示されます。表示された内容を十分確認してください。

登録するには   で「はい」を選び、 を押す

3 フォーマットに関する注意事項が表示されます。表示された内容を十分確認してください。

登録するには   で「はい」を選び、 を押す

フォーマットが始まります。

4 本機で表示される機器名称を変更することができます。

変更する場合は「はい」を選び、 を押す

表示名を入力します。

● 「文字を入力する」(⇒ 54 ページ参照)

5 本機への機器登録が2台目以降の場合、録画用登録の確認画面が表示されます。

録画用として登録する場合は「はい」を選び、 を押す

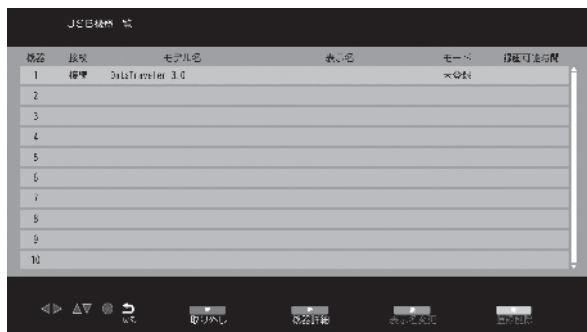
※ 本機にUSBハードディスクを接続した際、読み込みに時間がかかる場合があります。録画用登録の確認画面が表示されるまでお待ちください。

録画に必要な設定をする(つづき)

機器の登録を確認する

- 1 を押し、 で「機器設定」を選び、 を押す

- 2 で「USB 機器管理」を選び、 を押す



本機に登録されているUSBハードディスクが一覧表示されます。

- 「モード」欄に[録画用]と記載されているUSBハードディスクに録画されます。
- 「モード」欄に[未登録]と記載されている機器を選んでを押すと、機器登録画面が表示されます。

メモ

- ・ 本機に登録できるUSBハードディスクは8台までです。
- ・ 同時に接続できるのは1台のみです。

- USB機器一覧画面で機器を選んでカラーボタンを押すと、それぞれ次の操作がおこなえます。

USBハードディスクを取り外す

USBハードディスクを取り外す際は必ずこの操作をおこなってください。

青を押す

- 必ず画面に「この機器は安全に取り外しできます。」とメッセージが表示されてから取り外してください(表示されるまで数秒～十数秒程度かかります)。

詳細情報を表示する

機器の容量や名称など、機器に関する情報を確認できます。

赤を押す

機器の表示名を変更する

本機で表示される機器の名称を変更できます。

緑を押す

表示名を入力します。

- 「文字を入力する」(➡ 54ページ参照)

※ キーボードに改行の表示がありますが、本機では使用できません。

機器登録を削除する

本機に登録済みのUSBハードディスクの機器登録を削除します。

① ご注意

- ・ 機器登録を削除した場合、再度本機に登録する際はUSBハードディスクのフォーマットが必要となります。
※ これまで録画した番組は消去されますのでご注意ください。

黄を押す

録画する

見ている番組を録画する

現在見ている番組を録画するには次のように操作します。

を押す

見ている番組の録画が始まります。

- 画面表示ボタンを押すと画面右上に「録画中」と表示されます。

録画は3時間後、または番組終了後に自動的に停止します（お買い上げ時の設定は「3時間録画」です）。

※ 設定は「録画設定」の「録画ボタン設定」(⇒47ページ参照)で変更できます。

メモ

- 本機はUSBハードディスクに録画しながら、録画済みの番組や録画中の番組を再生できます。ただし、再生中は再生している映像の表示に影響が出る場合があります。

録画を途中で停止する

1 番組録画中に^{停止}を押す

2 確認画面が表示されるので「はい」を選び、を押す

番組表で録画予約する

番組表から録画したい番組を選んで録画するには次のように操作します。

1 を押す

2 番組表から録画したい番組を選び、を押す

番組情報画面が表示され、画面左下にボタンが表示されます。

- 放送中の番組のとき

- これから放送される番組のとき

3 で「録画予約」を選び、を押す

4 で「予約する」を選び、を押す

選んだ番組が1回だけ録画されます。

- 自動録画で予約するとき (⇒次ページ参照)
- 詳細な設定をおこなって予約するときは (⇒次ページ参照)

毎週予約で予約する

毎週予約をすると、次回以降の同じチャンネル、同じ曜日、同じ時間帯に放送される番組を自動的に録画予約します。

上記手順4で「毎週予約する」を選び、を押す

録画する(つづき)

自動録画する

「自動録画」は、番組名から次回以降の放送を自動的に検索し、録画予約する機能です。
「自動録画する」に設定した番組を基準に、同じチャンネル・時間帯・番組名から次回の放送を自動で検索し、録画予約します。

1 番組表を押す

2 番組表から録画したい番組を選び、決定を押す

番組情報画面が表示され、画面左下にボタンが表示されます。

● 放送中の番組のとき



● これから放送される番組のとき



3 録画予約を選択し、決定を押す

4 自動録画するを選択し、決定を押す

選んだ番組が自動録画設定されます。

メモ

- ・ 自動録画は最大 24 件まで予約設定できます。
- ・ 次回の予約が設定されるまで、最大 1 日かかる場合があります。

① ご注意

以下の条件によっては自動録画が実行されない場合があります。必ず事前に予約一覧で予約設定内容をご確認ください。

- ・ 番組名が前回と大きく異なる場合や似ているなどの場合は、次回の放送が録画されなかったり、内容の異なる番組が録画される場合があります。
- ・ 番組タイトルが極端に短い場合は予約設定されない場合があります。
- ・ 前回との放送開始時間が90分以上前後している場合は予約設定されない場合があります。
- ・ 1つの自動録画からは1日に1回だけ予約設定されます。同じ番組が1日に連続して複数回放送される場合などご注意ください。
- ・ 録画機器の状態（起動中や終了処理中など）によっては次回の予約が登録されなかったり実行できない場合があります。

詳細な予約設定をする

録画開始や終了時刻、日付やチャンネルなど詳細を指定した予約設定ができます。

1 番組表を押す

2 番組表から録画したい番組を選び、決定を押す

番組情報画面が表示され、画面左下にボタンが表示されます。

● 放送中の番組のとき



● これから放送される番組のとき



3 録画予約を選択し、決定を押す

4 詳細設定を選択し、決定を押す

表示された画面で以下の項目を選択・設定します。

その他の設定	録画番組をプロテクト（保護）する・しないを設定できます。
日時指定予約へ	「はい」を選択すると、日時指定予約の設定画面に移動し、詳細な日時を指定した録画予約をすることができます（下記参照）。

日時指定予約をするとき

- ・ この設定は「タイマー設定」の「日時指定予約」(➡ 46ページ参照) から選択できます。

5 日時指定予約への変更確認画面が表示されるので「はい」を選んで決定を押す

表示された画面で各項目を設定します。

予約方式	見るだけ（視聴予約）・録画（録画予約）を設定します。
放送種別／チャンネル	録画したい放送・チャンネルを設定します。
曜日／日	録画する日付を設定します。
開始時刻	録画したい番組の開始時刻・終了時刻を設定します。
終了時刻	
録画機器	（本機では設定できません。）

6 設定が済んだら「予約する」を選んで決定を押す

録画する (つづき)

予約を確認する・削除する

- 1 番組の視聴中などにサブメニューを押す
- 2  で「予約一覧」を選び、 を押す

「予約リスト」が表示され、設定されているすべての予約が確認できます。

-  を押すと、「自動録画」に設定されている予約が表示されます。

 を押すと、「予約リスト」に切り換わります。

- 3 予約を削除するときは
 で番組を選び、 を押す

- 4 確認画面が表示されるので「はい」を選んで
 を押す

メモ

- ・ 予約の削除は、番組表から予約登録した番組を選んで「予約削除」を選ぶことでもおこなえます。

「予約一覧」画面でできること

- 予約録画の状態確認
予約が実行された番組には アイコンが付きます。
 など、予約録画が正しく動作しなかった場合もアイコン表示でお知らせします。
- 予約の内容確認
「予約一覧」から番組を選んで  を押すと、「予約内容」画面が表示されます。
この画面で  (前項)、 (後項) を押して予約番組の内容・属性・お知らせを確認することができます。
- 録画履歴の削除
 アイコンが付いた番組は履歴から削除できます。
削除するには番組を選んで  を押します。
- 録画履歴の全削除
すべての履歴を削除するには、「予約一覧」画面で  を押し、「全履歴削除」をおこないます。
- 録画の中止
実行中の予約を選んで  を押すと、録画を中止できます。

予約の変更をする

- 1 番組の視聴中などにサブメニューを押す
- 2  で「予約一覧」を選び、 を押す

- 3  で予約を変更したい番組を選び、
 を押す

- 4  で「設定変更」を選び、 を押す
※「予約削除」を選ぶと予約の削除ができます。

- 5 「設定変更」画面が表示されるので、いずれかを選んで  を押す

「毎週予約に変更する」、「自動録画予約に変更する」、「詳細設定」のいずれかを選びます。

※「毎週予約」の番組を設定変更するときは、「日時指定予約」画面が表示されます。

※「詳細設定」で変更を加えた場合は、「設定変更」画面に戻り、「修正する」を押してください。

変更時に予約重複のメッセージが表示された場合

「はい」を選んで  を押すと「予約重複確認」画面が表示され、重複している予約番組を削除できます。

予約が重複したときは

予約した番組の放送開始時刻がほかの予約した番組と重なっている場合には、確認画面が表示されます。
(重複していると、番組の一部またはすべてが録画できません。)

画面の指示に従って、重複した予約を削除してください。

※ 予約重複が解消されていない場合、本機は以下の優先順位に基づき録画を実行します。

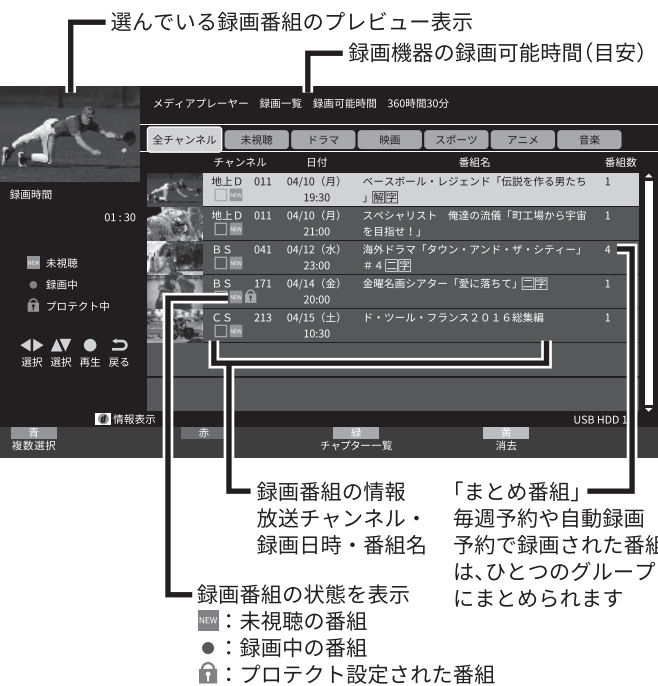
- ・ 開始時刻の早い番組を優先します。
- ・ 開始時刻が同じ場合、予約の種類で優先順位を決めます。
番組表録画 > 自動録画 > 日時指定録画 > 録画ボタンでの録画
- ・ 開始時刻と予約の種類が同じ場合、予約設定の日時がより新しい(現在時間に近い)番組を優先します。

録画した番組を再生する

USBハードディスクに録画した番組を見るには「録画リスト」から選んで再生します。「録画リスト」では、録画した番組の再生のほか、録画した番組の消去をおこなうことができます。

録画リストを押す

録画リストが表示されます。
※ 表示されるまでに時間がかかる場合があります。



●を押すと、録画番組を「未視聴」「ドラマ」「映画」などのカテゴリーに分類して表示できます。

録画番組の情報を確認する

録画リストから番組を選んだ状態で データ を押す
録画番組の詳細な情報が確認できます。

録画番組を再生する

録画リストから再生したい番組を 決定 で選び、
 決定 または 再生 を押す

録画番組の再生が始まります。
●一度再生した番組の場合、確認画面が表示されます。
「続きから再生」・「最初から再生」のいずれかを選びます。

メモ

- 録画中の番組も再生できます。ただし、再生中は再生している映像の表示に影響が出る場合があります。

録画番組再生中の操作

再生を開始すると以下のような画面が表示されます。
※ 下表にある操作をおこなったときや再生開始直後に、5秒程度表示されます。(早送り・早戻し中、一時停止中は表示されたままになります。)



録画番組の再生中は、以下の操作がおこなえます。

ボタン名		操作の内容
再生	再生	録画番組の再生を開始します。
一時停止	一時停止	再生を一時停止します。 もう一度押す、または 再生 を押すと再生を再開します。
停止	停止	再生を停止し、録画一覧に戻ります。
早送り	早送り	再生中に押すたびに、速度が速くなります(5段階)。
早戻し	早戻し	再生 で通常再生に戻ります。
スキップ	スキップ	次 で次、 前 で前のチャプターを再生します。 (チャプターがある場合のみ有効) ※ チャプターがない場合、 前 を押すと番組の先頭に戻って再生します。
10秒戻り	10秒戻り	再生中に押すたびに、約10秒戻って再生します。
30秒送り	30秒送り	再生中に押すと、約30秒先にスキップして再生します。
録画リスト	録画リスト	再生中に押すと、録画リストに戻ります。

録画番組再生中のサブメニュー

録画番組の再生中に サブメニュー を押すとサブメニューが表示され、字幕言語／音声切替／二重音声／視聴制限一時解除の設定ができます。
※ 設定できる内容は録画番組により異なります。

録画した番組を再生する (つづき)

番組の一部を繰り返し再生する (ABリピート)

指定した2点間 (A点からB点) を繰り返し再生できます (リピート再生)。

※ 複数の番組にまたがって設定することはできません。

1 リピート再生を開始したい場所 (A) で **黄** を押す

2 リピート再生を終了したい場所 (B) で **黄** を押す

(A)・(B) 間が繰り返しリピート再生されます。

● リピート再生を終了するには **黄** を押します。

チャプター一覧で場面を選んで再生する

※ チャプターは自動で付くよう設定されていますが、番組によってはチャプターが付かない場合があります。

1 録画リストから番組を選んだ状態で **緑** を押す

画面下部にチャプター一覧が表示されます。

● 録画番組の再生中に **緑** を押しても表示できます。

2  で再生したいチャプターを選び、**決定** を押す

選んだチャプターからの再生が始まります。

録画番組のプロテクトを設定・解除する

録画した番組にプロテクト設定をすると、番組を誤って消去してしまうなどの心配がなく安心です。

※ 設定・解除の方法は同じです。

1 録画リストからプロテクトを設定 (解除) したい番組を選び、**サブメニュー** を押す

画面左下にサブメニューが表示されます。

2  で「プロテクト設定変更」を選び、**決定** を押す

プロテクト設定が変更されます。

プロテクト設定された録画番組には  アイコンが付きます。

(プロテクトを解除するとアイコンは消えます。)

番組名を編集する

録画した番組の番組名を変更することができます。

※ プロテクト設定されている番組は変更できません。

変更するにはプロテクトの解除をおこなってください。

※ 録画中の番組は変更できません。

1 録画リストから番組名を変更したい番組を選び、**サブメニュー** を押す

画面左下にサブメニューが表示されます。

2  で「番組名編集」を選び、**決定** を押す

文字入力画面が表示されます。

● 「文字を入力する」(⇒ 54 ページ参照)

録画番組を消去する

1 録画リストから消去したい番組を選んで **黄** を押す

確認画面が表示されます。

2 確認画面で「はい」を選び、**決定** を押す

選んだ番組が消去されます。

複数の番組を一度に消すには

複数の番組を選んで一括消去することもできます。

1  で消去したい番組を選び、**青** を押す

選んだ番組に✓ (チェックマーク) が付きます。この操作を繰り返して、消去したい番組をすべて選びます。

2 番組を選び終わったら **黄** を押す

確認画面が表示されます。

3 確認画面で「はい」を選び、**決定** を押す

選んだすべての番組が一括消去されます。

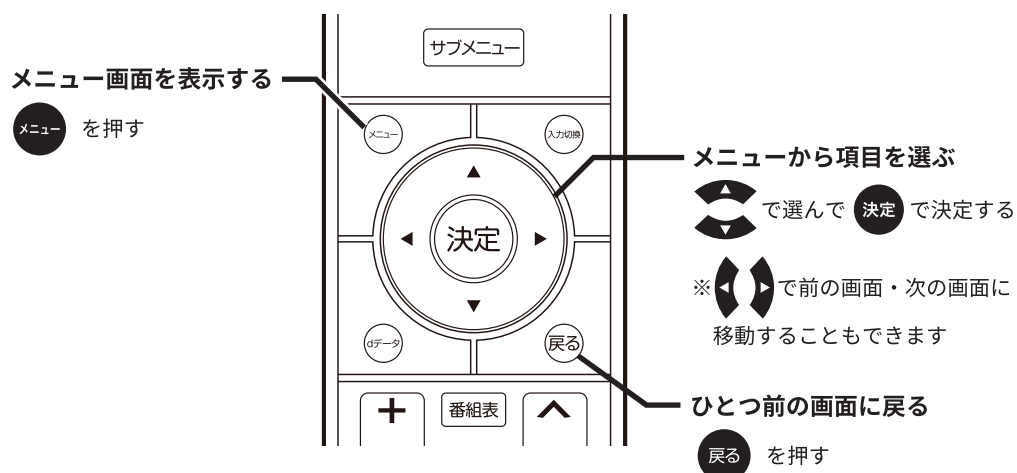
設定を変える

メニューの設定・操作

設定メニューで本機に関する各種設定をおこなうことができます。

基本的な操作のしかた

メニューの設定・操作には以下のリモコンボタンを使います。



メニュー画面の見かた



メモ

- ・ 戻る を押すと、ひとつ前のメニューに戻ります。

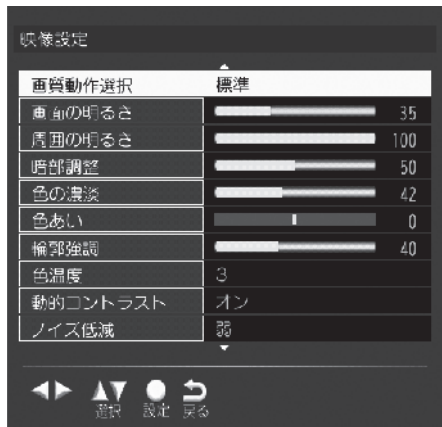
メニュー一覧

メインメニュー	サブメニュー (第1階層)	サブメニュー (第2階層)	サブメニュー (第3階層)	サブメニュー (第4階層)	設定値・内容など
映像設定	画質動作選択	—	—	—	鮮やか・標準・居間・映画・映画プロ・任意設定
	画面の明るさ	—	—	—	0～100
	周囲の明るさ	—	—	—	0～100
	暗部調整	—	—	—	0～100
	色の濃淡	—	—	—	0～100
	色あい	—	—	—	－50～＋50
	輪郭強調	—	—	—	0～100
	色温度	—	—	—	1・2・3・4・5
	動的コントラスト	—	—	—	オン・オフ
	ノイズ低減	—	—	—	自動・強・中・弱・オフ
	MPEGノイズ低減	—	—	—	強・中・弱・オフ
	高度な設定	—	—	—	入・切
	詳細調整	黒伸長	—	—	0～15
		ホワイトバランス	Rゲイン	—	－50～50
			Gゲイン	—	－50～50
			Bゲイン	—	－50～50
			Rカットオフ	—	－50～50
			Gカットオフ	—	－50～50
			Bカットオフ	—	－50～50
			調整の初期化	—	「ホワイトバランス」初期化
		ガンマ設定	—	—	2.6・2.4・2.2・2.0・1.8
		調整の初期化	調整の初期化	—	「ガンマ設定」初期化
		調整の初期化	—	—	「詳細調整」初期化
	シネマ設定	シネマリアリティ	—	—	オン・オフ
	画面の設定	画面サイズ切替	—	—	自動・フル・ジャスト・ノーマル・ズーム・サイドカットフル・サイドカットジャスト・サイドカットズーム
		オーバースキャン	—	—	オン・オフ
		両横ノイズカット	—	—	標準・小
		垂直位置／大きさ	—	—	—
		4：3映像設定	—	—	ノーマル・ジャスト
	調整の初期化	—	—	—	「映像設定」初期化
音声設定	音声調整	—	—	—	標準・音楽・会話・任意設定
	低音	—	—	—	－15～＋15
	高音	—	—	—	－15～＋15
	イコライザー	—	—	—	音声調整を「任意設定」にしたときのみ設定可能
		調整の初期化	—	—	「イコライザー」初期化
	バランス	—	—	—	L15～0,0～R15
	サラウンド	—	—	—	オン・オフ
	ヘッドホン音量	—	—	—	0～100
	音量自動調整	—	—	—	オン・オフ
	入力音量補正	—	—	—	－6～＋6
	デジタル音声出力	—	—	—	自動・PCM・ビットストリーム
	音声同時出力	—	—	—	する・しない
	調整の初期化	—	—	—	「音声設定」初期化
通信設定	ネットワーク接続	本機の名称変更	—	—	—
		IPアドレス	—	—	自動取得・手動設定
		IPアドレス	—	—	—
		サブネットマスク	—	—	—
		ゲートウェイ	—	—	—
		DNSアドレス	—	—	自動取得・手動設定
		DNS	—	—	—
		プロキシ設定	アドレス ポート番号	—	—
	ネットワーク状態	再接続確認	—	—	—
		詳細情報	—	—	—
タイマー設定	日時指定予約	予約方式	—	—	見るだけ・録画
		放送種別／チャンネル	—	—	—
		曜日／日	—	—	—
		開始時刻	—	—	—
		終了時刻	—	—	—
		録画機器	—	—	—
		その他の設定	録画番組のプロテクト	—	する・しない
		予約せず戻る	—	—	—
		予約する	—	—	—

メニュー一覧 (つづき)

メインメニュー	サブメニュー (第1階層)	サブメニュー (第2階層)	サブメニュー (第3階層)	サブメニュー (第4階層)	設定値・内容など
タイマー 設定 (つづき)	オンタイマー	オンタイマー	—	—	入・切
		時刻	—	—	時刻を設定 (00:00)
		音量	—	—	0 ~ 100
		放送／入力	—	—	設定しない・地上D・BS・CS・HDMI1・HDMI2・ビデオ
		チャンネル	—	—	—
		チャンネル名	—	—	—
	無操作電源オフ	—	—	—	入・切
	無信号電源オフ	—	—	—	入・切
機器設定	USB 機器管理	—	—	—	USB 機器一覧を表示
	録画設定	自動予約	—	—	オン・オフ
		録画ボタン設定	—	—	番組終了・3時間録画
		オートチャプター	—	—	オン・オフ
		USB HDD 待機	—	—	オン・オフ
	視聴制限設定	暗証番号入力画面を表示	暗証番号設定	—	暗証番号 (4桁) 入力 (0000 ~ 9999)
			視聴年齢制限設定	—	4才 ~ 19才、無制限
			暗証番号削除	—	はい・いいえ
	表示の設定	字幕の設定	字幕	—	オン・オフ
			字幕言語	—	日本語・英語
			文字スーパー	—	オン・オフ
			文字スーパー言語	—	日本語・英語
		入力表示	HDMI1 / HDMI2 / ビデオ	—	HDMI1 (HDMI2・ビデオ)・使用しない (スキップ)・ブルーレイ・DVD・レコーダー・ゲーム・CATV・チューナー・表示なし
			タイトル表示	—	オン・オフ
		時計表示	—	—	オン・オフ
	HDMI 設定	HDMI 連動	—	—	オン・オフ
		電源入連動	—	—	オン・オフ
		電源切連動	—	—	オン・オフ
		自動切	—	—	オン・オフ
		レコーダー操作	—	—	通常・拡大
	かんたん設定	—	—	—	「かんたん設置設定」ウィザードを表示
	設置設定	受信対象設定	BS	—	使う・使わない
			CS	—	使う・使わない
		チャンネル設定	地上デジタル	初期スキャン	—
				再スキャン	—
				マニュアル	—
			BS	—	BSチャンネル設定を表示
			CS	—	CSチャンネル設定を表示
		地域設定	県域設定	—	—
			郵便番号	—	—
		受信設定	地上	アッテネーター	オン・オフ
				物理チャンネル	—
			衛星	アンテナ電源	オン・オフ
				トランスポンダ	—
				衛星周波数	—
		高速起動	—	—	入・切
		B-CAS テスト	—	—	—
	システム設定	設定情報リセット	—	—	はい・いいえ
		放送メール	—	—	放送メールを表示
		B-CAS 情報	—	—	カード識別、カードID、グループID
		CS ボード	CS1 ボード	—	受信ボードを表示
			CS2 ボード	—	
		ライセンス情報	ソフト情報表示	—	—
		ルート証明書	ルート証明書表示	—	—
	その他の設定	文字入力設定	入力方法	—	リモコンボタン・画面キーボード
			変換方式	—	通常方式・予測方式
		選局対象	—	—	設定チャンネル・テレビのみ・全チャンネル
機器情報	ID 表示	—	—	—	デコーダーID、バージョンを表示

映像設定



「映像設定」メニューを表示する

- ① **メニュー** を押す
- ② 「映像設定」を選び、**決定** を押す
- ③ 必要に応じ、以下の項目を選んで設定をする

画質動作選択

あらかじめ登録されているプリセットモードから、番組や外部入力の映像に合わせてお好みの画質を選んで設定できます。

- 入力信号ごと（テレビ／HDMI1／HDMI2／ビデオ）に設定ができます。

- ① **入力切替** で設定したい放送（テレビ）、または外部入力（HDMI1／HDMI2／ビデオ）を選ぶ
- ② **メニュー** を押す
- ③ 「映像設定」を選び、**決定** を押す
- ④ 「画質動作選択」を選び、**決定** を押す
- ⑤ モード（下表参照）を選び、**決定** を押す

鮮やか	明暗のはっきりとした、メリハリあるモード
標準	一般家庭で使用される際の標準的なモード
居間	比較的明るいリビングに適したモード
映画	映画視聴やホームシアター環境に適したモード
映画プロ	映画など原画の再現性を重視したモード
任意設定	お好みに合わせて調整できるモード

- プリセットモードを選んだあと、「画面の明るさ」・「周囲の明るさ」などの各項目を調整すると、その内容が設定値として記憶されます。
各設定項目についての詳細は次項「詳細な画質設定をする」をご覧ください。

詳細な画質設定をする

画面の明るさ	0 ～ 100	お好みに合わせて見やすい明るさに調整できます。
周囲の明るさ	0 ～ 100	明るい部分と暗い部分の差を調整できます。
暗部調整	0 ～ 100	夜の場面や髪の毛などを見やすく調整できます。
色の濃淡	0 ～ 100	お好みの濃さに調整できます。
色あい	- 50 ～ + 50	肌色などをきれいに調整できます。
輪郭強調	0 ～ 100	映像の輪郭を見やすく調整できます。
色温度	1・2・3・4・5	お好みの色調に切り換えます。
動的コントラスト	オン・オフ	「オン」に設定すると、シーンに合わせてメリハリのある映像にします。
ノイズ低減	自動・強・中・弱・オフ	デジタル放送特有のちらつきやノイズなどを軽減します。強くするとノイズが目立たなくなりますが、表示の鮮明度が低下します。
MPEG ノイズ低減	強・中・弱・オフ	MPEG 特有のモスキートノイズを軽減します。強くするとノイズが目立たなくなりますが、表示の鮮明度が低下します。

高度な設定

設定を「入」にすると、以下の「詳細調整」の項目を設定できます。

詳細調整

黒伸長	中間より暗い部分の階調変化を調整できます。
ホワイトバランス	RGB（赤・緑・青）信号のホワイトバランスを調整します。明るい部分、暗い部分それぞれを調整します。
ガンマ設定	中間輝度を調整します。数値が小さいほど中間輝度が明るくなります。
調整の初期化	「詳細設定」の設定値を工場出荷時の値に戻します。

映像設定 (つづき)

シネマ設定

よりリアルに映画を楽しめるシネマリアリティの「オン／オフ」を設定します。

「オン」に設定すると、毎秒 24 コマで撮影された映画の映像を忠実に再現します。

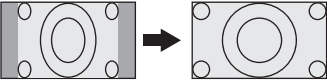
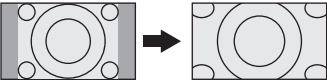
映像が不自然なときは「オフ」に設定してください。

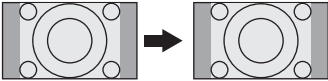
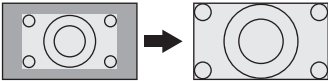
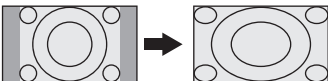
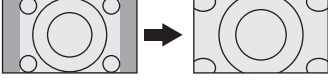
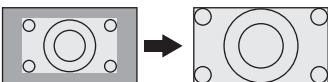
- 480i、1080i 信号の場合のみ設定できます。
- 設定は地上デジタル・BS デジタル・110 度 CS デジタルの各放送波、および HDMI1・HDMI2・ビデオの各入力信号ごとに記憶されます。

画面の設定

画面サイズ切替	画面サイズのモードを切り換えます。 (下表参照)
オーバー スキャン	16：9 映像のとき、周囲を隠して表示します。 16：9 映像の端まで表示する場合は「オフ」に します。
両横ノイズ カット	映像の両端にノイズ状のものが見える場合に 画面の左右の幅を変更できます。
垂直位置／ 大きさ	画面モードがジャスト／ズームのときの垂直 (上下) の位置やサイズを微調整します。 垂直位置の調整範囲は拡大状況により変わ ります。
4：3 映像設定	画面モードが「自動」のとき、4：3 映像をオ リジナルのまま見るときは「ノーマル」に設 定します。自動拡大して見るときは「ジャスト」 に設定します。 ※ 720p や 1080i、1080p 信号のときは働きません。

「画面サイズ切替」の各モードについて

自動	放送や入力信号に応じて、最適な画面モードに自動で切り換えます。 ※ 見にくいときは手動でモードを選んでください。
フル	横方向が圧縮された映像 (スクイーズ映像) を、横方向に拡大して画面いっぱいに表示します。 
ジャスト	4：3 映像を違和感の少ない映像に拡大します。 拡大比率は、中央付近は小さく、左右周辺は大きくなります。 

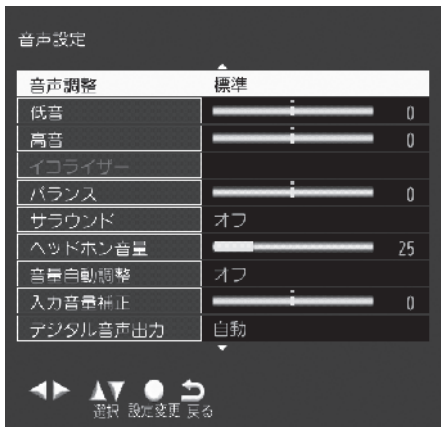
ノーマル	オリジナルの 4：3 映像をそのまま表示します。 
ズーム	全体を拡大表示します。 
サイドカットフル	左右に帯のある 16：9 映像を、横方向に拡大して表示します。 
サイドカットジャスト	左右に帯のある 16：9 映像を、違和感の少ない映像に拡大します。 拡大比率は、中央付近は小さく、左右周辺は大きくなります。 
サイドカットズーム	上下左右に帯のある 16：9 映像を、全体を拡大して画面いっぱいに表示します。 

調整の初期化

「映像設定」のすべての設定値を工場出荷時の値に戻します。

設定を変える

音声設定



「音声設定」メニューを表示する

- ① **メニュー**を押す
- ② 「音声設定」を選び、**決定**を押す
- ③ 必要に応じ、以下の項目を選んで設定をする

音声調整

あらかじめ登録されているプリセットモードから、番組や外部入力の音声に合わせてお好みの音質を選んで設定できます。

● 入力信号ごと（テレビ／HDMI1／HDMI2／ビデオ）に設定ができます。

- ① **入力切替**で設定したい放送（テレビ）、または外部入力（HDMI1／HDMI2／ビデオ）を選ぶ
- ② **メニュー**を押す
- ③ 「音声設定」を選び、**決定**を押す
- ④ 「音声調整」を選び、**決定**を押す
- ⑤ モード（下表参照）を選び、**決定**を押す

標準	全音域がバランスよく聴こえるモード
音楽	音楽などに適したメリハリを強調したモード
会話	人の声をより聴きやすくしたモード
任意設定	お好みに合わせて調整できるモード

● プリセットモードを選んだあと、「低音」・「高音」などの各項目を調整すると、その内容が設定値として記憶されます。各設定項目についての詳細は次項「詳細な音声設定をする」をご覧ください。

詳細な音声設定をする

低音	－15 ～＋15	低音を調整できます。
高音	－15 ～＋15	高音を調整できます。
イコライザー	150～12kHz －6～＋6	各周波数域を設定し、お好みの音質に調整できます。 ※音声調整を「任意設定」に設定した時だけ有効になります。
バランス	L15～0, 0～R15	左右の音量を調整できます。
サラウンド	オン・オフ	臨場感を楽しみたいときは「オン」を選んでください。 音がひずむ場合は「オフ」に設定してください。
ヘッドホン音量	0～100	ヘッドホン／イヤホンを接続しているときの音量を調整できます。
音量自動調整	オン・オフ	「オン」に設定すると、小さな音を大きく、大きな音は小さくなるよう自動調整し、音量の変化を抑えます。
入力音量補正	－6～＋6	放送や入力信号を切り換えたときに音量が変化する場合に調整します。 調整したい放送や外部入力に切り換えて、設定を調整してください。
デジタル音声出力*1	自動・PCM・ビットストリーム	光デジタル音声出力端子や、HDMI1入力端子から出力する音声信号を設定します。
音声同時出力	する・しない	ヘッドホン／イヤホンを使用しているとき、本機スピーカーからも音声を出力する、またはしないを設定します。

※ ARC 接続した際は、ARC 接続機器側で調整してください。

*1 HDMI1、HDMI2 の場合は「HDMI 音声入力設定」の表示になります。ビデオの場合は表示されません。

調整の初期化

「音声設定」のすべての設定値を工場出荷時の値に戻します。

通信設定



「通信設定」メニューを表示する

- ① **メニュー** を押す
- ② 「通信設定」を選び、**決定** を押す
- ③ 必要に応じ、以下の項目を選んで設定をする

ネットワークの設定をする

ネットワーク機能を利用するための設定をします。
LANケーブルなどネットワーク接続環境が揃っていることを確認し、以下の手順で設定します。

- ① **メニュー** を押す
- ② 「通信設定」を選び、**決定** を押す
- ③ 「ネットワーク接続」を選び、**決定** を押す
- ④ ご利用環境に応じて、下記いずれかの設定をする

IPアドレスを自動的に取得する

「本機の名称／IPアドレス／DNS設定」画面で、

- ① 「IPアドレス」を選び、**決定** を押す
- ② 「自動取得」を選び、**決定** を押す

※「自動取得」に設定すると、「DNSアドレス」の設定も連動して「自動取得」に設定されます。

IPアドレスを手動で設定する

「本機の名称／IPアドレス／DNS設定」画面で、

- ① 「IPアドレス」を選び、**決定** を押す
- ② 「手動設定」を選び、**決定** を押す
- ③ お使いのブロードバンドルーターの仕様を確認し、「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイ」をそれぞれ入力する

- リモコンの **1** ～ **9**、**10/0** で入力します。
- 「0」を入力するには **10/0** を押します。
- 入力した文字を削除するには **黄** を押します。

DNSアドレスを手動で設定する

「本機の名称／IPアドレス／DNS設定」画面で、

- ① 「DNSアドレス」を選び、**決定** を押す
- ② 「手動設定」を選び、**決定** を押す
- ③ 「DNS」を選び、プロバイダーから指定されたIPアドレスを入力する

- リモコンの **1** ～ **9**、**10/0** で入力します。
- 「0」を入力するには **10/0** を押します。
- 入力した文字を削除するには **黄** を押します。

プロキシ設定をする

※ 通常は設定をおこなう必要はありません。お使いのプロバイダーから指定がある場合にのみ設定してください。

「本機の名称／IPアドレス／DNS設定」画面で、

- ① 「プロキシ設定」を選び、**決定** を押す
- ② 「アドレス」を選び、**決定** を押す
画面に表示された内容に従って入力してください。
- ③ 「ポート番号」を選び、ポート番号を入力する

- リモコンの **1** ～ **9**、**10/0** で入力します。
- 「0」を入力するには **10/0** を押します。
- 入力した文字を削除するには **黄** を押します。

ネットワークの接続状態を確認する

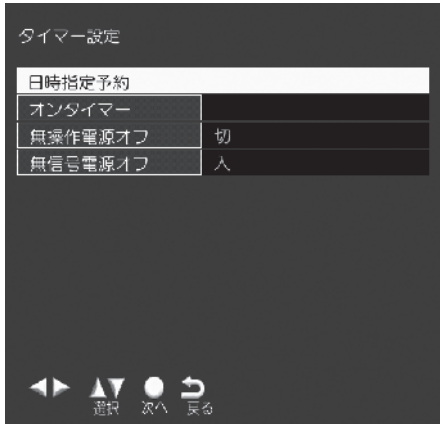
IPアドレスやDNSが正しく設定され、インターネットに接続できるかを確認します。

- ① **メニュー** を押す
- ② 「通信設定」を選び、**決定** を押す
- ③ 「ネットワーク状態」を選び、**決定** を押す

ネットワークの接続状況を確認します。
接続テストが完了すると、画面にその旨のメッセージが表示されます。

※ 「詳細情報」を選ぶとMACアドレス、IPアドレスなどの情報を確認できます。
※ 接続できないときは、表示されるメッセージの内容に応じて対策をおこなってください。

タイマー設定



「タイマー設定」メニューを表示する

- ① **メニュー**を押す
- ② 「タイマー設定」を選び、**決定**を押す
- ③ 必要に応じ、以下の項目を選んで設定をする

日時指定予約

最大1年先までの予約や毎日、毎週などの繰り返しの予約ができます。

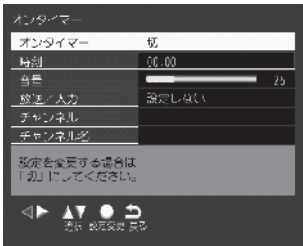
各項目を設定後、「予約する」を選び、**決定**を押す

予約方式	「見るだけ」または「録画」を選びます。 ^{*1}
放送種別／チャンネル	録画したい放送・チャンネルを設定します。
曜日／日	録画する日付を設定します。
開始時刻	録画したい番組の開始時刻を設定します。
終了時刻	録画したい番組の終了時刻を設定します。
録画機器	録画する機器を設定します。

^{*1} 本機の電源が「切」の場合、予約方式の「見るだけ」は無効となります。「見るだけ」予約をしても本機の電源が自動で「入」になるわけではありませんのでご注意ください。

オンタイマー

設定した時刻に自動でテレビの電源を「入」にすることができます。



● 設定の変更は「オンタイマー」を「切」にしておこないます。

オンタイマー	「入」でオンタイマー機能が働きます。
時刻	電源が入る時刻を設定します。
音量	電源が入ったときの音量を設定します。

放送／入力	電源が入ったときに表示される入力を設定します。 ※ 電源を切る前まで見ていた放送を表示させたい場合は「設定しない」を選びます。
チャンネル	電源が入ったときに表示されるチャンネルを設定します。 ※ 「放送／入力」で「設定しない」またはHDMIなどの外部入力を選んでいる場合は「----」が表示されます。 ※ 電源を切る前まで見ていた放送を表示させたい場合は「設定しない」を選びます。
チャンネル名	「チャンネル」で設定した放送局名が表示されます。 ※ 「放送／入力」で「設定しない」またはHDMIなどの外部入力を選んでいる場合は「----」が表示されます。

メモ

- 本体の主電源が「切」（電源ランプが消灯している）のときは、オンタイマーは動作しません。
- オンタイマーで電源が入ったときは、60分後に自動的にオフタイマーが働き電源が切れる仕様になっています。60分経過後も続けてご覧になりたい場合は、電源が切れる前にオフタイマーを「切」にしてください。

無操作電源オフ

本機が操作されない状態が一定時間（約4時間以上）続くと、自動的に電源を切るよう設定できます。

入	無操作電源オフ機能が働きます。
切	無操作電源オフ機能が働きます。

● 電源が切れる3分前になると、画面に残り時間（3分、2分、1分）が表示されます。

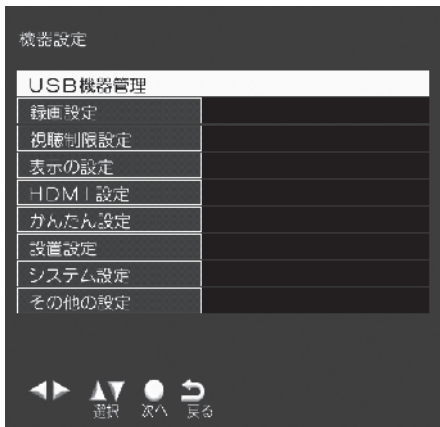
無信号電源オフ

映像や音声の信号入力がない状態が約10分間続いたときに、自動的に電源を切るよう設定できます。

入	無信号電源オフ機能が働きます。
切	無信号電源オフ機能が働きます。

● 電源が切れる3分前になると画面に残り時間（3分、2分、1分）が表示されます。

機器設定

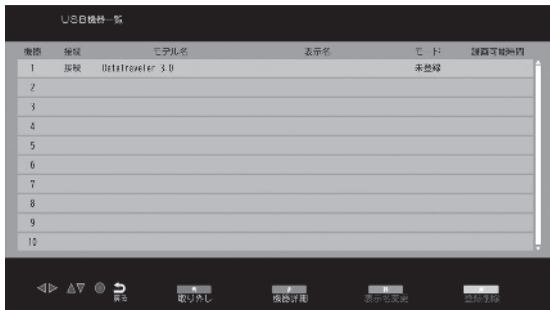


「機器設定」メニューを表示する

- ① **メニュー** を押す
- ② 「機器設定」を選び、**決定** を押す
- ③ 必要に応じ、以下の項目を選んで設定をする

USB 機器管理

本機に登録されているUSBハードディスクが一覧表示されます。各ボタンを押すと以下の操作がおこなえます。



- 青** …機器の本機からの取り外し
- 赤** …機器に関する詳細確認
- 緑** …機器表示名の変更
- 黄** …本機への機器の録画用機器登録、または削除

録画設定

USBハードディスク録画に関する設定をおこないます。

自動予約	「オフ」にすると、録画時に「自動録画」(➡ 35 ページ参照) で予約した番組の録画を次回以降おこないません。
録画ボタン設定	録画ボタンを押したときに録画される時間を設定します。 番組終了：番組終了まで録画します。 3時間録画：録画開始から3時間録画します。
オートチャプター	「オン」にすると、録画の際、自動的に番組の切れ目(無音部分)にチャプターマークを付けるよう設定できます。
USB HDD 待機	「オン」にすると、本機に接続したUSBハードディスクが10分以上何も操作されない(再生、録画、ダビングなど)ときに、USBハードディスクを休止状態にして消費電力を抑えます。

視聴制限設定

番組を視聴できる年齢を制限します。視聴年齢制限を超える番組を視聴する際は、暗証番号の入力が必要となります。

暗証番号を設定する

はじめて「視聴制限設定」をするときは、暗証番号の登録が必要になります。「視聴制限設定」を選んで **決定** を押すと、暗証番号設定画面が表示されます。

- 「視聴制限設定」の設定を変更する際にも、暗証番号の入力が必要になります。

- ① 「視聴制限設定」を選んで **決定** を押す



- ② 表示された画面で、登録したい暗証番号(4桁)を **1 ~ 9**、**10/0** で入力する
 - 「0」を入力するには **10/0** を押します。
 - 間違えた場合は **戻る** を押し、もう一度入力し直します。
 - 入力した数字は、画面上では「*」で表示されます。
- ③ 確認のため再度同じ暗証番号(4桁)を入力する暗証番号が登録されます。
 - 設定した暗証番号は忘れずにメモしておいてください。

機器設定 (つづき)

視聴制限設定をする

各設定をおこなうには、表示された画面で暗証番号を入力する必要があります。

暗証番号設定	暗証番号の登録・変更ができます。
視聴年齢制限設定	視聴を制限する年齢を設定します。 ※ 視聴年齢を「無制限」に設定した場合、対象年齢に関係なく番組を視聴できます。
暗証番号削除	登録済みの暗証番号を削除します。 ※ 削除すると視聴年齢などの制限項目が解除されます。

メモ

- ・ 年齢制限を超える番組は、番組表で「・・・」と表示されます。
- ・ 「視聴年齢制限設定」・「暗証番号削除」は、録画中は設定できません。

表示の設定

画面表示に関する各種設定をおこないます。

字幕の設定

字幕と文字スーパーに関する設定をおこないます。



字幕	「オン」にすると、字幕を表示します。
字幕言語	字幕で表示したい言語を選択します。
文字スーパー	「オン」にすると、文字スーパーを表示します。
文字スーパー言語	文字スーパーで表示したい言語を選択します。

メモ

- ・ 設定が「オン」でも、字幕や文字スーパーのない番組では表示されません。

入力表示

入力切替 を押したときに画面に表示される名称を、HDMI1・HDMI2・ビデオの各入力端子に接続した機器の種類（ブルーレイ・DVD・レコーダーなど）に合わせて変更することができます。



■ 設定のしかた

変更したい入力端子を選び、表示された中から機器に合わせた表示を選びます。

外部入力のスキップ設定

入力切替 を押したときに、設定した外部入力を選択しない（スキップする）よう設定できます。

■ 設定のしかた

スキップしたい入力端子を選び、「使用しない（スキップ）」を選びます。

タイトル表示

設定を「オン」にすると、チャンネルを変えたときなどに、画面に番組のタイトルが表示されます。

メモ

- ・ 設定が「オフ」でも、**画面表示** を押したときは表示されます。

時計表示

設定を「オン」にすると、画面左下に常に時刻が表示されます。

機器設定 (つづき)

HDMI 設定

本機と HDMI ケーブルで接続されている HDMI 接続機器を連動させて、本機のリモコンで簡単に操作できる機能です。



① ご注意

- 接続した機器側の設定も必要となります。設定のしかたについては各機器の取扱説明書をご覧ください。
- 接続する機器によっては本機能の一部または全部をお使いになれない場合があります。

HDMI 連動	「オン」にすると、HDMI 連動機能をお使いになれます。
電源入連動	「オン」にすると、HDMI 接続機器の電源を入れたとき、連動して本機の電源も「入」になります。
電源切連動	「オン」にすると、HDMI 接続機器の電源を切ったとき、連動して本機の電源も「切」になります。
自動切	「オン」にすると、使っていない機器の電源を個別に自動で「切」にします。
レコーダ操作	「拡大」を選ぶと、HDMI 接続機器の種類に応じて操作に有効なボタンが追加されます。

かんたん設定

「かんたん設置設定」(⇒ 20 ページ参照)

設置設定

受信に関する各種設定をおこないます。



受信対象設定

視聴する放送の種類を設定します。

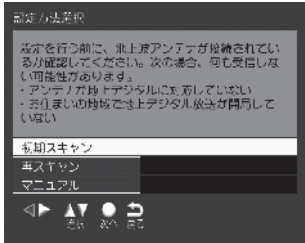
BS	「使わない」に設定すると、放送波を受信しません。
CS	

チャンネル設定

地上デジタル・BS デジタル・110 度 CS デジタル各放送のチャンネルを設定します。

地上デジタル放送のチャンネルを設定する (初期スキャン)

① **決定** を押し、「地上デジタル」を選んで **決定** を押す



② 「初期スキャン」を選び、**決定** を押す
③ 「地域選択」でお住まいの地域を選び、「次へ」を選んで **決定** を押す

④ 「UHF」または「全帯域」を選び、**決定** を押す
※ 通常は「UHF」を選択します。
(「全帯域」はVHF、UHF、C13 ～C63 の帯域をスキャンします。)

チャンネルスキャンが始まります。

⑤ 表示された内容を確認する
※ 修正するとき
「地上デジタル放送のチャンネルを設定する (マニュアル)」(⇒ 50 ページ参照)

- チャンネルスキャンをおこなうと、これまでのチャンネル設定はすべてリセットされ、自動的に設定し直されます。
- スキャンには時間がかかります (数分程度)。
- 放送の電波が強すぎて映像が不安定になる場合は「アッテネーター」を「オン」にして (「地上デジタル放送のアンテナを調整する」(⇒ 51 ページ参照))、もう一度スキャンを実行してください。

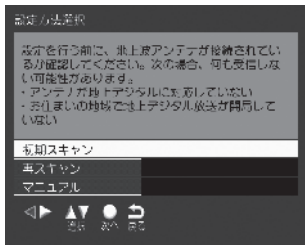
設定を変える

機器設定(つづき)

地上デジタル放送のチャンネルを設定する(再スキャン)

受信状況が変わったときや新しい放送局が開局したときなどに、放送局を自動で追加します。

- ① **決定** を押し、「地上デジタル」を選んで **決定** を押す



- ② 「再スキャン」を選び、**決定** を押す

チャンネルスキャンが始まります。

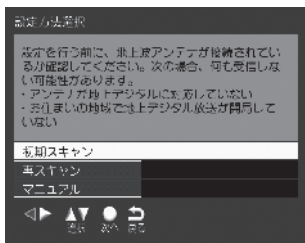
- ③ 表示された内容を確認する

※ 修正するときは「地上デジタル放送のチャンネルを設定する(マニュアル)」(下記)をご覧ください。

地上デジタル放送のチャンネルを設定する(マニュアル)

リモコンの数字ボタンに自動的に割り当てられたチャンネルを、お好みで変更したいときにおこないます。

- ① **決定** を押し、「地上デジタル」を選んで **決定** を押す



- ② 「マニュアル」を選び、**決定** を押す

登録されているチャンネルが一覧表示されます。

- ③ 修正したい行(リモコンの数字ボタン)を選び、**決定** を押す

設定画面が表示されるので、登録したいチャンネルを選びます。

- ②の画面で **緑** を押すと、行を入れ換えることができます。画面表示に従って操作してください。

衛星デジタル放送のチャンネルを設定する

衛星デジタル放送(BSデジタル/110度CSデジタル)のチャンネルは工場出荷時にあらかじめ設定されていますが、リモコンの数字ボタンへの割り当てをお好みで変更したいときにおこないます。

- ① **決定** を押し、「BS」または「CS」を選んで **決定** を押す



登録されているチャンネルが一覧表示されます。

- ② 修正したい行(リモコンの数字ボタン)を選び、**決定** を押す

設定画面が表示されるので、登録したいチャンネルを選びます。

- ②の画面で **緑** を押すと、行を入れ換えることができます。画面表示に従って操作してください。

地域設定

データ放送で地域の情報を受信するための設定です。

メモ

- ・「かんたん設置設定」であらかじめ登録されています。引越越しなどで変更が必要な場合に設定してください。

県域設定	お住まいの都道府県名を選びます。
郵便番号	お住まいの地域の郵便番号を入力します。 ● リモコンの 1 ~ 9、10/0 で入力します。 ● 「0」を入力するには 10/0 を押します。 ● 入力した文字を削除するには 黄 を押します。

機器設定 (つづき)

受信設定

地上デジタル、BS・110度CSデジタル放送各アンテナの調整設定をおこないます。

地上デジタル放送のアンテナを調整する

地上デジタル放送の受信チャンネルのアンテナレベルを確認できます。アンテナ方向の調整などをおこなう場合にお使いいただけます。

アッテネーター	放送の電波が強すぎて映像が不安定になるときは「オン」に設定すると、電波を弱めて安定させることができます。
物理チャンネル	チャンネル番号を選ぶと、選んだチャンネルの放送局名およびアンテナ受信レベルが画面下に表示されます。

衛星デジタル放送のアンテナを調整する

BS・110度CS衛星デジタル放送の受信チャンネルのアンテナレベルを確認できます。アンテナ方向の調整などをおこなう場合にお使いいただけます。

また、アンテナへの電源供給オン・オフを設定できます。

アンテナ電源	「オン」に設定すると、衛星アンテナのコンバーターへ電源を供給します。 (マンションなどの共用アンテナの場合は「オフ」にしてください。)
トランスポンダ	チャンネル番号を選ぶと、選んだチャンネルの放送局名およびアンテナ受信レベルが画面下に表示されます。
衛星周波数	設定を変更する必要はありません。 ※変更すると視聴できなくなることがあります。放送局などから指定がない限り、変更しないでください。

高速起動

設定を「入」にすると、リモコンで電源「切」の状態から「入」にして映像が表示されるまでの時間を短縮することができます。

B-CASテスト

miniB-CASカードの動作状態を確認することができます。正常な場合は「テストが正しく終了しました。デジタル放送やデータ放送を利用することができます。」と表示されます。

メモ

- 「miniB-CASカードが正しく挿入されていません。…」と表示されたときは、miniB-CASカードが正しく挿入されているか確認してください。
- カード挿入後すぐは正しく認識されない場合があります。挿入後数秒おいてから確認してください。

システム設定

本機を工場出荷時の状態に戻したり、放送局からのメールやボード、その他本機に関する情報を確認できます。



設定情報リセット

本機に記録されている情報をすべて消去し、工場出荷時の状態にします。

①ご注意

- 譲渡や廃棄などで本機を手放される以外には実行しないでください。
- リセットが完了し、画面が表示されるまで本体の電源を切らないでください。故障の原因となります。
- 本機での録画・再生に使用したUSBハードディスクの登録情報も削除されます。そのため、これまでに録画したUSBハードディスクの録画番組は再生できなくなりますので、くれぐれもご注意ください。

リセットのしかた

- ① **決定** を押し、画面に表示された内容をよく読む
- ② 実行するには「はい」を選び、**決定** を押す
設定されているすべての情報（暗証番号を除く）がリセットされます。

放送メール

放送局からのお知らせや情報を見たり、本機からのお知らせを見ることができます。

- ① 「放送メール」を選び、**決定** を押す
受信しているメールが一覧表示されます。
- ② 確認したいメールを選び、**決定** を押す
選んだメールが表示されます。

機器設定 (つづき)

B-CAS 情報

miniB-CAS カードの ID 番号などを確認することができます。

CS ボード

110 度 CS デジタル放送局からのお知らせや情報を見ることができます。

- ① 「CS ボード」を選び、**決定** を押す
 - ② 「CS1 ボード」または「CS2 ボード」を選び、**決定** を押す
- 受信しているボードが一覧表示されます。
- ③ 確認したいボードを選び、**決定** を押す
- 選んだボードが表示されます。

ライセンス情報

本機が搭載しているソフトウェアに関する情報を表示します。

ルート証明書

データ放送のルート証明書の情報を表示します。

その他の設定

文字入力時の入力・変換方式の設定、およびリモコンでチャンネルを選局するときの表示チャンネルを設定します。



文字入力設定

リモコンを使用して文字を入力するときの、入力方法および変換方式を設定できます。

入力方法

リモコンボタン	リモコンの数字ボタンを使い、携帯電話と同じような操作で入力します。
画面キーボード	画面上に表示されるキーボードで文字や項目を選んで入力します。

変換方式

通常方式	読みを入力したあと、ボタンを押して変換候補を表示させる設定です。
予測方式	文字を1文字入力したときに、自動的に変換候補が表示される設定です。

選局対象

リモコンの **チャンネル** でチャンネルを順送りで選局するときに表示されるチャンネルを設定できます。

設定チャンネル	リモコンの 1 ～ 12 に登録されているチャンネルと、チャンネル設定で登録したチャンネルが選局されます。
テレビのみ	テレビ放送（映像＋音声のあるチャンネル）のみ選局します。
全チャンネル	放送されているすべてのチャンネルを選局します。

機器情報



「機器情報」メニューを表示する

- ① **メニュー** を押す
- ② 「機器情報」を選び、**決定** を押す
- ③ 必要に応じ、以下の項目を選ぶ

ID表示

本機の端末IDおよびソフトウェアのバージョン情報を見ることができます。

文字を入力する

項目によっては、文字を入力場合があります。

文字の入力方法と変換方式について

文字の入力方法には「画面キーボード」と「リモコンボタン」の2通りがあります。

画面 キーボード (お買い上げ 時の設定)	入力の際に画面キーボードが表示され、画面上のキーボードで文字や項目を選んで入力する方法です。
リモコン ボタン	リモコンの数字ボタンを使って、携帯電話と同じような操作で入力する方法です。

- 文字の入力方法を変える
「文字入力設定」(⇒ 52 ページ参照)

また、文字の変換方式もお好みに合わせて以下のいずれかに設定できます。

通常方式	読みを入力したあと、手動で変換候補を表示させる方式です。
予測方式	文字を1文字入力したときに、自動的に変換候補が表示される方式です。

- 文字の変換方式を変える
「文字入力設定」(⇒ 52 ページ参照)

画面キーボードで入力する

入力が必要なときに、画面上にキーボードが表示されます。

- キーボードを消すときは **赤** を押します。
- 「キーボード移動」を押すと、画面内でキーボードの表示位置を変えることができます。

例)「英語」と入力するとき

- ① **緑** を押し、入力文字を「かな」に切り換える
 - 押すたびに「かな」→「カナ」→「英数」と切り換わります。
- ②  で文字を選び、**決定** を押して「えいご」と入力する
- ③ **青** を押し、表示された変換候補から  で「英語」を選び、**決定** を押す
 - 変換せずそのまま確定するときは **赤** を押します。
- ④ **赤** を押して入力した文字を確定する
キーボードの表示が消えます。

文節を分けて変換する

変換候補の文字が表示されているときに  を押す
切り換え後、 を押すと変換候補が表示されます。

記号を入力する

- ① 「きごう」と入力し、**青** を押す
- ②  で記号を選び、**決定** を押す

全角英数字を入力する

「英数」モード(半角)で入力し、**青** で変換する

文字を追加する

- ① キーボード左端にある「入力位置移動」を選び、**決定** を押す
- ②  で文字を追加する位置にカーソルを移動させ、**決定** を押して文字を入力する

文字を削除する

- ① キーボード左端にある「入力位置移動」を選び、**決定** を押す
- ②  で削除する文字にカーソルを移動させ、**黄** を押す



・改行はできません。

変換方式が「予測方式」のとき

- ① 文字を選び、**決定** を押す
 - ②  で変換したい文字を選び、**決定** を押す
- ※ **青** を押すと、一時的に通常の変換方式にすることができます。

文字を入力する(つづき)

リモコンボタンを使う

入力にはリモコンの数字ボタンを使います。携帯電話と同じような操作で入力できます。

● 各ボタンの対応する文字については、右記「入力文字対応表」をご覧ください。

例)「英語」と入力するとき

- ① **緑** を押し、入力文字を「かな」に切り換える
● 押すたびに「かな」→「カナ」→「英数」→「数字」と切り換わります。
- ② **決定** を押す
- ③ 「えいご」と入力する
 - 1) 「え」: **1** を4回押す
 - 2) **決定** を押す
(同じ数字ボタンの文字を続けて入力するときは、カーソルを右へ移動させます)
 - 3) 「い」: **1** を2回押す
 - 4) 「ご」: **2** を5回、**10/0** を1回押す
- ④ **決定** を押し、表示された変換候補から「英語」を選び、**決定** を押す
- ⑤ **決定** を押して入力した文字を確定する
入力画面の表示が消えます。

文節を分けて変換する

変換候補の文字が表示されているときに **決定** を押し切り換え後、**決定** を押すと変換候補が表示されます。

記号を入力する

「きごう」と入力し、**決定** で記号を選び、**決定** を押す

全角英数字を入力する

「英数」モード(半角)で入力し、**決定** で変換する

文字を追加する

決定 で文字を追加する位置にカーソルを移動させ、文字を入力する

文字を削除する

決定 で文字を削除する位置にカーソルを移動させ、**黄** を押す

 **メモ**
・ 改行はできません。

変換方式が「予測方式」のとき

文字を入力し、変換候補が表示されたら **決定** で変換したい文字を選び、**決定** を押す

※ **緑** を押すと、一時的に通常の変換方式にすることができます。

入力文字対応表

ボタン	かな	カナ	英数	数字
1	あいうえお あいうえお 1	アイウエオ アイウエオ 1	@./:~_# \$ % * +=^` 1	1
2	かきくけこ 2	カキクケコ 2	a b c A B C 2	2
3	さしすせそ 3	サシスセソ 3	d e f D E F 3	3
4	たちつとっ 4	タチツテトッ 4	g h i G H I 4	4
5	なにぬねの 5	ナニヌネノ 5	j k l J K L 5	5
6	はひふへほ 6	ハヒフヘホ 6	m n o M N O 6	6
7	まみむめも 7	マミムメモ 7	p q r s P Q R S 7	7
8	やゆよゃゅょ 8	ヤユヨャュョ 8	t u v T U V 8	8
9	らりるれろ 9	ラリルレロ 9	w x y z W X Y Z 9	9
10/0	ゝ。?!・ () 0	ゝ。?!・ () 0	-,;'"?!&¥ () <> [] { } 0	0
11	わをんわースペース	ワヲンワースペース	スペース	*
12	—	—	—	#

- ボタンを押すたびに、表の順に文字が変わります。
(例:「い」を入力するときは **1** を2回押す)
- 未確定の文字があるときに **12** を押すと、表の逆順で文字が変わります。
- 濁点(゛)や半濁点(゜)を入力するときは、文字に続けて **10/0** を押します。

困ったときは

使用方法を間違えると、次のような症状が起こり、故障と思われることがあります。
修理を依頼される前に、下表で確認してください。それでも症状が改善されない場合はお買い上げの販売店、
また弊社カスタマーセンター修理対応窓口(P.64)でご相談ください。

電源関連		
症 状	考えられる原因	対処方法
電源が入らない	・ 電源プラグが抜けている。	・ 電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。
	・ 電源プラグが抜けかかっている。	
急に電源が切れた	・ 内部処理をおこなっているため操作への反応が遅い場合があります。	・ 約1分程お待ちになり、再度電源を入れてください。
	・ オフタイマーが設定されている。	・ 再度電源を入れ、同じ症状が起こらないか確認してください。
	・ 「無操作電源オフ」「無信号電源オフ」が設定されている。	・ 再度電源を入れ、各設定を確認してください。

リモコン関連		
症 状	考えられる原因	対処方法
リモコンで操作できない	・ リモコンの乾電池が消耗している。	・ リモコンの乾電池を新しいものに交換してください。
	・ 乾電池の挿入方向(プラス／マイナス)が間違っている。	・ 乾電池を取り出し、正しい向きに入れ直してください。
	・ テレビのリモコン受光部に向けて操作していない。	・ テレビのリモコン受光部(本体正面)に向けて操作してください。
	・ テレビのリモコン受光部に直射日光や強い光が当たっている。	・ テレビのリモコン受光部(本体正面)に直射日光や強い光が当たらないようにしてください。
	・ テレビとリモコンの間に遮蔽物がある。	・ 遮蔽物を取り除いてください。
チャンネル ⅧⅨ ボタンで特定のチャンネルが選局できない	・ スキップ設定をしている。	・ チャンネルスキップの設定を解除してください。
	・ 編成チャンネルを選局している場合があります。	・ 数回ボタンを押してください。同じ番組が放送されている場合があります。

テレビを見ているとき		
症 状	考えられる原因	対処方法
映像も音声も出ない	・ アンテナケーブルが外れている。	・ アンテナケーブルが切れたり外れたりしていないか確認してください。
	・ 接続されていない入力先を選んでいる。	・ 入力を切り換えてください。
	・ 外部機器の接続ケーブルが外れている。	・ ケーブルを接続し直してください。
映像は出るが、音声がでない	・ 消音状態、または音量が「0」になっている。	・ 音量+ボタンを押してください。
	・ ヘッドホンやイヤホンが接続されている。	・ ヘッドホンやイヤホンを外してください。
ビデオを見ているときに片側のスピーカーから音声が出ない	・ 音声ケーブルが外れている。	・ ケーブルをしっかりと接続してください。

困ったときは(つづき)

テレビを見ているとき(つづき)

症状	考えられる原因	対処方法
音声に異音が入ったり、映像にノイズが出る	- 本製品の近くで携帯電話などの無線機器を使用している。 - アンテナの向きがずれている。	- 無線機器を離してお使いください。 - 受信レベルを確認し、電波が弱い(受信レベルが50以下)場合はアンテナ方向を調整するなどしてください。
映像が悪い	- アンテナケーブルが切れたり外れている。 - アンテナが壊れたり、向きがずれたりしている。 - 近くで落雷や電波障害が起きている。 1本のアンテナ線を複数のテレビやレコーダーにつないでいる。 - 近くで電磁波を出す電化製品(電子レンジなど)を使用している。 - 映像が正しく調整されていない。 - チャンネルが正しく設定されていない。 - 編成チャンネルを選局している場合があります。 - 県域設定を確認する。 - チャンネルが変更されている。	- アンテナケーブルを確認してください。 - 受信レベルを確認し、電波が弱い(受信レベルが50以下)場合はアンテナ方向を調整する、アンテナを交換するなどしてください。 - しばらく待って、再度確認してください。 - 分配器などで信号を分配している場合、電波が減衰している場合があります。ブースターを設置するなどしてください。 - それらの機器から離してお使いください。 - 映像設定を確認してください。 - お住まいの地域の放送波を受信しているか確認し、チャンネルスキャンを実施してください。 - 数回ボタンを押してください。同じ番組が放送されている場合があります。 - 県域設定を確認してください。お住まいの地域によっては該当の地域よりも近隣の地域を選択することで視聴できる場合があります。 - 放送局や中継局が増設されるなどでチャンネルが変更されている場合があります。チャンネルスキャンを実施してください。
色が薄い、色合いが悪い	- 映像が正しく調整されていない。 - チャンネルが正しく設定されていない。 - 端子が正しく接続されていない(外部機器からの映像を視聴している場合)。	- 映像設定を確認してください。 - お住まいの地域の放送波を受信しているか確認し、チャンネルスキャンを実施してください。 - 接続を確認してください。
画面が暗い	- 映像モードが適切でない。 - 映像が正しく調整されていない。	- ご覧になる番組や部屋の明るさなどの環境に合わせて、適切な映像モードに変更してください。 - 映像設定を確認してください。
デジタル放送が映らない	- miniB-CASカードが正しく挿入されていない。 - miniB-CASカードの端子部(金色部分)が汚れている。	- miniB-CASカードが正しく挿入されているか確認してください。 - miniB-CASカードの端子部に汚れやホコリが付着している場合はきれいに拭き取り、再度挿入してください。
地上デジタル放送が映らない	- チャンネルが正しく設定されていない。 - 県域設定を確認する。 - チャンネルが変更されている。	- お住まいの地域の放送波を受信しているか確認し、チャンネルスキャンを実施してください。 - 県域設定を確認してください。お住まいの地域によっては該当の地域よりも近隣の地域を選択することで視聴できる場合があります。 - 放送局や中継局が増設されるなどでチャンネルが変更されている場合があります。チャンネルスキャンを実施してください。

困ったときは (つづき)

テレビを見ているとき (つづき)

症 状	考えられる原因	対処方法
BS・110度CSデジタル放送が映らない	・ チャンネルによっては受信契約が必要な場合があります。	・ 適宜受信契約などをおこなってください。
	・ アンテナケーブルが切れたり外れるなど、衛星放送受信用アンテナとの接続が切れている。	・ 接続を確認してください。
	・ アンテナが壊れたり、向きがずれたりしている。	・ 受信レベルを確認し、電波が弱い (受信レベルが50以下) 場合はアンテナ方向を調整する、アンテナを交換するなどしてください。
	・ 大雨や大雪など天候が悪い。	・ 悪天候の際やアンテナに雪が積もっているなどの場合には電波が弱くなります。天候の回復を待って、再度確認してください。

録画・USBハードディスク関連

症 状	考えられる原因	対処方法
録画できない	・ USB ハードディスクがUSB 端子にきちんと接続されていない。	・ 接続を確認してください。
	・ 接続したUSB ハードディスクが本機での録画用に登録されていない。	・ 録画に使用するUSB ハードディスクは本機に登録する必要があります。
	・ 録画禁止の番組を録画しようとしている。	・ 番組説明でご確認ください。
	・ USB ハードディスクの残量が少ない。	・ 不要になった番組を消去するか、新しいUSB ハードディスクをご用意ください。
録画予約が実行されない	・ テレビの電源プラグが抜けている。	・ 本体の電源プラグが抜けていると録画予約が実行されません。録画予約中はリモコンの電源ボタンで電源を「切」にしてください。
録画番組を消去できない	・ 番組にプロテクト設定をしている。	・ プロテクト設定を変更してください。
録画番組の一部またはすべてが消えてしまった	・ 録画や再生中に停電などで、本機の電源が切れた。	・ 録画や再生中に停電になったり、電源プラグが抜けるなどで電源が切れた場合、番組が消えたり、USB ハードディスクが使えなくなる場合があります。
データ放送の録画ができない	・ データ放送は録画できません。	—
録画番組を再生しているときに、途中で映像が乱れたり、ノイズが出たりする	・ 録画中の番組を再生している。	・ 本機は録画をしながら録画中の番組を再生できますが、再生中の映像に影響が出る場合があります。気になる場合は録画が終了してからお楽しみください。
	・ 天候などにより電波の悪い状態で録画した番組を再生した場合に発生することがあります。	—
	・ アスペクト比 (映像の横縦比) や解像度の異なる場面のつなぎ目では、一瞬画像が乱れたり、黒い画面になる場合があります。	—
	・ 番組と番組のつなぎ目部分など、正しい画面が出るまで静止画になったりモザイク状のノイズが出る場合があります。	—
	・ シーンの切り換わりで、映像や音声がちぎれたりする場合があります。	—
ハードディスクを初期化したのに認識されない	・ ハードディスクをはじめてお使いになる際、まれにハードディスクが正しく認識されない場合があります。	・ 再度初期化をおこなってください。

困ったときは (つづき)

番組表関連

症状	考えられる原因	対処方法
番組表に表示されないチャンネルがある	- 本機の電源プラグが差さっておらず、スタンバイ状態（リモコンボタンでの電源「切」状態）でなかった。 - 引っ越しなどでお住まいの地域が変わっていませんか。 - 前回のチャンネルスキャン後に放送局側で放送周波数が変更された可能性があります。	- 番組表の取得には一定の時間がかかります。そのチャンネルを一定時間視聴するか、表示されるまでしばらくお待ちください。 - お住まいの都道府県地域を適切に設定し、チャンネルスキャンをなおしてください。
ジャンル検索した番組のジャンルが、番組説明で表示されるジャンルと異なっている	番組説明ではひとつのジャンルのみが表示されますが、1つの番組が複数のジャンルを持っている場合があります。	—
地上デジタルの放送局のロゴが表示されない	一定時間視聴しないと表示されません。	表示されるまでしばらくお待ちください。

その他

症状	考えられる原因	対処方法
チャンネル ⅧⅨ ボタンでチャンネルが選局できない	- お買い上げ時設定では、デジタル放送の放送サービス（テレビ、独立データ）内で順送りにチャンネルを選局します。 - チャンネルが登録されてない。 - 複数のチャンネルで同時に同じ番組を放送しているときに、代表チャンネル以外を選局しようとしている。	- ご覧の放送（地上デジタル、BS デジタル、110 度CS デジタル）と放送サービス（テレビ、独立データ）をご確認ください。 - チャンネルスキャンをおこない、チャンネルを登録してください。 - 代表チャンネル以外は選択できません。代表チャンネルで選局してください。
リモコンの数字ボタンのチャンネル割り当てがおかしい	チャンネル設定の都道府県地域設定が適切でない。	お住まいの都道府県地域を適切に設定し、チャンネルスキャンを再度おこなってください。
ペイ・パー・ビューなどの有料放送が購入できない	- LAN 回線に適切につながっていない。 - LAN 回線の種類などが適切でない。 - 購入可能時間以外に購入しようとしている。 - 購入可能件数を超えている。	- ペイ・パー・ビュー番組の購入には LAN 回線への接続が必要です。 - 回線業者やプロバイダーにお問い合わせください。 - 番組によっては購入可能時間が設定されています。購入可能時間内に購入してください。 - 購入可能件数を超えると購入できませんので、購入できるようになるまでお待ちください。
メニュー項目が選択できない	接続環境などによっては選択できないメニューもあります。	—

表示メッセージ

代表的なエラーメッセージについて説明しています。

全 般

表示されるメッセージ	考えられる原因	対処のしかた
「降雨対応放送に切り換わりました。(E 2 0 1)」	気象条件などによって信号レベルが下がり、降雨対応放送切換が可能な状態になった。	自動的に降雨対応放送に切り換わります。気象条件の回復などで信号レベルが上がると、通常の放送に戻ります。
「受信できません。アンテナの設定や調整を確認してください。(E 2 0 2)」	● アンテナが放送に適合していない。 ● アンテナ線が外れたり、切れたりしている。 ● アンテナ電源が供給されていない (BS・110度CSアンテナの場合)。 ● アンテナの方向ずれや故障。 ● 電波が弱くて視聴できない。 ● 雨や雷、雪などの気象条件によって一時的に受信できない。 ※ 放送が休止中の場合にも表示されることがあります。	● 放送に適合したデジタル放送用アンテナであることを確認します。 ● アンテナとアンテナ線の状態や接続を確認します。(販売店または弊社お客様サポートセンターにご相談ください。) ● BS・110度CSアンテナに電源が供給されるようにします。
「現在、このチャンネルは放送を休止しています。(E 2 0 3)」	選局したチャンネルでの放送が休止中、または放送が終了している。 ※ 雨や雷、雪などの気象条件によって一時的に受信できない場合も表示されることがあります。	番組表などで放送時間を確認します。
「このボタンにチャンネルは設定されていません。」	放送のないチャンネルを選局した。	番組表などでチャンネルを確認します。
「B-CASカードを正しく挿入してください。挿入していても、このメッセージが表示される場合は、一旦電源を切り、カードを抜いて差し直してください。」	miniB-CASカードが挿入されていない。	miniB-CASカードを挿入します。
	miniB-CASカードが正しく挿入されていない。	miniB-CASカードを正しく挿入します。
	miniB-CASカードの金色端子部が汚れていませんか。	きれいな乾いた布で金色端子部の汚れを拭き取ります。

表示メッセージ (つづき)

USBハードディスクに関するエラー表示

表示されるメッセージ	考えられる原因	対処のしかた
「USB機器が見つかりません。」	接続ケーブルが外れている。	接続を確認します。
	USBハードディスクの電源が切れている。	USBハードディスクの電源を入れます。
	USBハードディスクにエラーが発生した。	USBハードディスクの電源を入れ直してみます。
「USB端子の電源容量を超えました。接続機器を外して、本体の電源をオフ、オンしてください。」	バスパワータイプ（電源非供給タイプ）は使用できません。	—
「録画・再生用のHDDがありません。」	USBハードディスクを登録していない。	● USBハードディスクを接続しなおして登録します。 ● 登録されたUSBハードディスクを接続します。
「録画中は操作できません。」	USBハードディスクの録画が停止していない。	● USBハードディスクの録画を停止します。 ● 録画が完了するまで待ちます。
「HDDがいっぱいのため、録画できません。」	USBハードディスクの容量が不足している。	● 不要な番組を削除します。 ● 新しいUSBハードディスクを使用します。
「番組情報が取得できないため録画できませんでした。」	録画した番組が正常に保存されなかった。	—
	「録画ボタン設定」を「番組終了」に設定しているため、番組情報が取得できず番組の終了時刻が確認できない。	● 「録画ボタン設定」を「3時間録画」にします。 ● 番組情報が取得できるまで待ってから操作します。

おもな仕様

本 体

品 名	32V型液晶テレビ	
品 番	FFF-TV32WBK2-SB	
受信機型サイズ	32V型	
電源	AC 100V 50/60Hz 共用	
消費電力	55W (待機時：0.5W)	
年間消費電力量 ^{★1}	76.3kWh/年 (省エネ基準達成率 108% 多段階評価:☆☆)	
区分名 ^{★2}	a (2K未満液晶テレビ)	
外形寸法 ()内はスタンドを含む寸法	約 幅 732mm×高さ472mm×奥行 80mm (約 幅 738mm×高さ524mm×奥行 203mm)	
壁掛け取付寸法	200mm×100mm (M6×10mm)	
質量(スタンドを含む)	約 4.1kg	
液晶画面	画面寸法	幅 697.685mm×高さ392.256mm
	駆動方式	Advanced Super Dimension Switch, Normally Black
	画素数	水平 1366×垂直 768
受信チャンネル	地上デジタル：VHF (1～12)、UHF (13～62)、CATV (C13～C63) BS デジタル：000～999 110度CS デジタル：000～999	
スピーカー	10W 8Ω×2、10W 6Ω×2	
音声出力	実用最大出力 8W + 8W	
入出力端子	HDMI入力1～2	HDMI Ver.1.4 ※HDMI入力1のみARC機能に対応
	ビデオ入力	映像：1V (p-p)、75Ω、同期負 (ピンジャック) 音声：最大 500mV (rms)、22kΩ以上 (ピンジャック)
	USB (録画用) 端子	USB2.0
	LAN 端子	RJ-45
	ヘッドホン出力端子	口径 3.5mm ステレオミニジャック
	光デジタル音声出力端子	－ 17dBm 640-670nm
使用環境条件	温度：5℃～35℃ 相対湿度：20%～80% (結露のないこと)	
付属品	miniB-CASカード、スタンド、スタンド取り付けねじ、単4形乾電池(動作確認用)、リモコン、保証書、取扱説明書	

※ 外観および仕様は改良のため予告なく変更することがあります。
※ 本製品は日本国内でご使用いただくために設計・製造されたものです。
※ 付属品の乾電池は動作確認用です。
※ HDMI およびHDMI ロゴは、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。

★¹ 年間消費電力量:年間消費電力量とは、省エネ法に基づいて1日あたり4.5時間の動作時間/19.5時間の待機時間(電子番組表取得時間を含む)で算出した、1年間に使用する電力量です。
★² 区分名とは：省エネ法において、画素数およびパネルの種類に基づき規定されている名称のことで。

おもな仕様(つづき)

推奨 USB ハードディスク

FFF SMART LIFE CONNECTED株式会社製の3.5インチ(据え置きタイプ) 外付けHDD。

(2023年 6月現在)

※ 弊社が推奨するハードディスク容量の上限は8TBまでとなります。

※ ACアダプタが付属した電源供給型の外付けハードディスクをご使用ください。

USB ハードディスク録画に関する注意事項

- ハードディスクに録画する際は、事前に試し録画をして正しく録画できることを確かめてください。
- 本機で使用したハードディスクは、本機でのみ録画・再生ができます。
- 本機で使用したハードディスクを本機以外の機器と接続しても、録画した番組を視聴できません。また、弊社製の同型製品や他製品へ録画済みハードディスクを接続しても再生はできません。本機以外にハードディスクを接続すると初期化されて保存したデータが消去される原因になります。
- 本機以外で使用していたハードディスクを本機で使用する場合は、ハードディスクの初期化をおこなってください。なお、初期化をするとハードディスク内のデータはすべて消去されますのでご注意ください。
- ハードディスクを本機ではじめて使用されるときは、本機へ接続して録画用登録をおこなってください。
- 本機を故障などで修理した場合は、ハードディスクに録画した番組の再生はできなくなりますのでご了承ください。

録画番組について

- 録画した番組を再生すると、映像と音声に多少ズレが生じる場合があります。
- 録画した番組はお客様個人でお楽しみください。上映など営利目的で使わないでください。
- お客様の使用方法において著作権法を違反した場合、弊社は一切の責任を負いません。
- ハードディスクなどの記録メディアが物理的に故障したり、内部データが損傷することで録画した番組が視聴できなくなっても、弊社は一切の責任を負いません。
- お客様が使用されたハードディスクが故障や破損などをした場合には、弊社は一切の責任を負いません。

本機で利用できる機器・使用できない機器

- 本機に登録できる USB ハードディスクは8台までです。
- 本機に録画用として登録できる機器は160GB以上の USB ハードディスクです。
- 電源供給型のハードディスク(標準規格USB2.0HDD)をご使用ください。なおお使いの際はハードディスクに付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。

- バスパワータイプ(電源非供給タイプ)のハードディスクは使用できません。
- USB フラッシュメモリは使用できません。
- USB ハブは使用できません。必ず本機のUSB 接続端子にハードディスクを直接接続してください。
- 複数台のハードディスクを同時に接続しての使用はできません。
- Flash-SSD(ソリッドステートドライブ)は使用できません。
- 本製品の製造後に発売された新しいデータ書き込み速度やデータ転送方法では使用できない場合があります。
- 本製品の製造後に発売されたハードディスクは使用できない場合があります。

ハードディスクご使用上の注意

- ハードディスクを使用中(アクセス中)に本機から取り外すと、ハードディスクが破損したり、以降の録画や再生が正常におこなえなくなる場合がありますのでご注意ください。
- ハードディスクを取り外す際は、必ずメニューから「取り外し」を選択してから取り外してください。
- USB ケーブルやハードディスクは信頼のおける高品質なものをお使いください。本製品で利用できるハードディスクは、DVD ディスクなどと異なり半永久的に使用・保存できる記録メディアではありません。録画した番組が物理的に破損したり、内部のデータが損傷することで録画した番組が再生できなくなる可能性があります。恒久的に記録しておきたい番組を録画する場合は複製コピーやムーブができる CPRM 対応録画チューナーなどの使用をおすすめします。

USB ハードディスクの取り扱いについて

- 物理的な衝撃(落下、重量物を載せるなど)を与えないでください。
- 不安定な場所で使用しないでください。
- 分解したり、変形させないでください。
- 磁気を近づけないでください。
- 電磁波が出ていると思われる場所の付近で使用しないでください。
- 高温になる場所(直射日光の当たる窓際など)で使用しないでください。

お問い合わせ先

製品に関するご質問や操作方法・修理のお問い合わせについては、お問い合わせフォームからお受けしております。

お手持ちのスマートフォンやパソコンから、QRコードまたはURLにアクセスいただきお問い合わせください。

※お問い合わせの前に「困ったときは(P.56)」もご参照ください。

※サポート窓口の混雑状況により、回答にお時間を頂戴する場合がございます。何卒ご了承ください。

FFF SMART LIFE CONNECTED株式会社

カスタマーセンター修理対応窓口

〒252-1107 神奈川県綾瀬市深谷中8-3-4

<http://www.marshal-no1.jp/support/form.html>



IRIE